

テキスタイル用インクジェットプリンタ

Textile Jet
Tx-1600S

テキスタイルジェット Tx-1600S

取扱説明書

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとする。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とする。

一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとする。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング 1999

All Rights Reserved.

Copyright © 1999 MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd.

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

受信障害について

この製品は弱い電波を出すため正しく設置、使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因になることがあります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。

もし、この製品がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、この製品の電源スイッチをオン／オフして確かめてください。

もし障害の原因なら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダの方向を変えてみる
- この製品の使用方向を変えてみる
- 受信機とこの製品の距離を離してみる
- この製品と受信機とは別の電源ラインを使用してみる

FCC Statement (USA)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interferences in which cause the user will be required to correct the interference at his own expense.

本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

この度は、テキスタイル用インクジェットプリンタ「Tx-1600S」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本書は、テキスタイル用インクジェットプリンタ「Tx-1600S」（以後本装置と称します）の取り扱いについて説明いたします。本装置では、一度に最大7色のインクが使用できます。また、最大1650mm幅のメディアがセットできます。本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。

おねがい

- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

絵表示について

本書では、本装置を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を十分理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。













⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



💡記号は、知っておくと便利なことが描かれています。参考にしてください。

 警告	
<p>分解・改造はしない</p> <p> ★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。 感電や故障の原因になります。</p>	<p>電源・電圧について</p> <p> ★ 表示された電源仕様で使用してください。 また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理されたコンセントに差し込んでください。 火災・感電の原因になります。</p> <p></p>
<p>湿気の多い場所では使用しない</p> <p> ★ 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。 火災や感電、故障の原因になります。</p>	<p>電源ケーブルの取り扱い</p> <p> ★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。 また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります</p>
<p>異常事態の発生</p> <p> ★ 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。</p> <p></p>	<p>インクカートリッジの取り扱い</p> <p> ★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。</p> <p> ★ インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。</p> <p> ★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。万一、インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し医師の治療を受けてください。</p> <p> ★ インクカートリッジのインクの詰め替えはしないでください。インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。</p>
<p>ロールメディアについて</p> <p> ★ ロールメディアは重いため、落とさないよう注意してください。足などの上に落とすと、ケガをする恐れがあります。</p>	

使用上の注意

⚠注意

定期交換部品があります。



- ★ 本装置には、3000～5000時間で定期的に交換する部品（インク供給、チューブ等）があります。保守契約をしていただくことをお勧めいたします。

フロントカバーとレバーについて



- ★ 作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。作図が終了してまいります。

ホコリから守る



- ★ できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。（⇒4章メンテナンス機能）



- ★ 作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。



- ★ 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。



- ★ メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。



- ★ キャッピングステーションの拭き掃除（ホコリ、紙粉）はこまめに行ってください。また、毛羽だったワイパはホコリをこすりつけている事と同じですので、毛羽だったワイパは即交換してください。



- ★ 作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（⇒4章メンテナンス機能）

メディアについて



- ★ メディアは、Tx-1600S 専用指定布をお使いください。専用指定布以外を使用して発生したトラブルについては、責任を負いかねます。



- ★ カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。カールがきつくと、画質に影響を及ぼします。

キャストのロック



- ★ 必ず、キャストをロックしてから作図してください。ロックをしないで作図すると、装置が動きだす場合があります。

警告ラベルについて



- ★ 本装置には、2種類の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。
添付位置は、付録Dをご覧ください。

⚠注意

インクカートリッジについて



★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから利用してください。



★ カートリッジは、取付直前に開封してください。
開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。



★ カートリッジは、開封してから6カ月以内に使い切ってください。

開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。



★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。

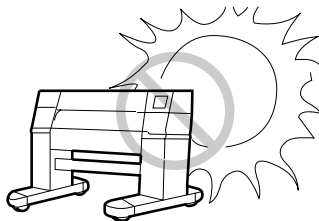
★ インクを詰め替えないでください。

★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。

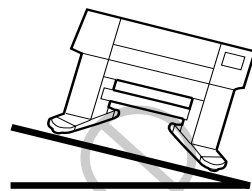
設置上の注意

⚠注意

直射日光が当たる場所



水平でない場所

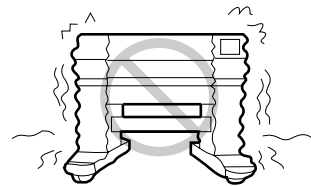


温度や湿度の変化が激しい場所

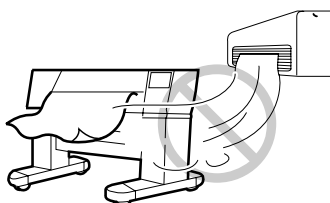


次の環境下でお使いください。
使用環境 : 18 ~ 25℃
35 ~ 65%(Rh)

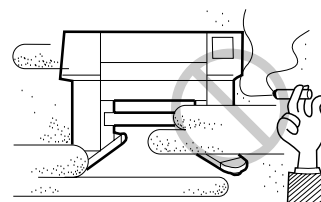
振動が発生する場所



エアコンなどの風が直接当たる場所












塵、ホコリやタバコの煙が充満している場所



本書の読み方

ディスプレイとキーの表記

ディスプレイ	本文中では、[ステーションメンテ]のように []でくくって表記します。 
キー	図中および本文中を問わず、次のように表記します。        

本書の構成

1章 セットアップ

本装置の開梱から組み立てまで、またメディアのセットなど、本装置のセットアップについて説明します。

2章 基本動作・基本機能

メディアの交換、インクカートリッジの交換などの基本動作、および通常使う基本機能について説明します。

3章 応用機能

便利な機能について説明します。

4章 メンテナンス機能

画質が悪化した場合の対処や確認するための機能およびワイパー・廃インクタンクの交換方法について説明します。

5章 困ったときは

本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブルの解消方法について説明します。

付録

本装置の仕様、ファンクションメニュー構造、出力サンプル、および別売品のご紹介について説明します。

索引

知りたい機能および項目を検索するときにご覧ください。

本装置の特長

高作画品質の提供

新開発のピエゾ方式インクヘッドによりインクの飛び散り（サテライト）を除去し、最適なインク粒子の放出によって、高品質な画像を得ることができます。

最高720dpiの解像度で作画することができます。

ランニングコストを大幅に削減

インクとヘッドを分離し、インクカートリッジのみを交換するため低コストのインクカートリッジを実現。

またインクエンド検出機構により、空印字によるメディア、作図時間の無駄を防止します。

便利な巻き取り装置を標準装備

巻き取り装置の動作は、プロッタの動作にあわせて3つのモードから選択できます。常にメディアを巻き取る連続モード、伸縮のあるメディアを使用する場合に一定量メディアをたまるまておく間欠モード、そして巻き取りを行わないオフモードがあります。また、巻き取り装置は後行程に合わせて、外巻き、内巻きの切り換えが巻き取り装置のスイッチで行えます。

巻き取り装置を使用することにより、長尺作図の際のメディアの管理が容易になります。

目次

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
使用上の注意	4
設置上の注意	5
本書の読み方	6
ディスプレイとキーの表記	6
本書の構成	7
本装置の特長	8

1章 セットアップ

設置場所	1-2
付属品の確認	1-3
各部の名称とはたらき	1-6
前面	1-6
背面	1-8
キャリッジ	1-10
キャッピングステーション	1-11
操作パネルの名称とはたらき	1-12
ジョグキーのはたらき	1-13
ヘッドストッパーの取り外し	1-14
ケーブルの接続	1-15
パラレルインターフェイスケーブル	1-15
電源ケーブル	1-16
電源のオン/オフ	1-17
電源のオン	1-17
電源のオフ	1-18
各モードについて	1-19
インクカートリッジについて	1-20
取り扱い上の注意	1-20
インクカートリッジをセットする前に	1-21
はじめてインクカートリッジをセットするときは	1-22

インクヘッドについて	1-24
メディアのセット	1-25
メディアセンサーのはたらき	1-25
メディア検出方法	1-25
メディア検出の設定[メディア ケンシュツ]	1-26
布浮き防止板の取り付け	1-29
ロールメディアのセットと布浮き防止板の使用方法	1-31
本装置の移動	1-40
移動方法	1-40
キャストのロック	1-40

2 章 基本動作・基本機能

有効作図エリア	2-2
フロントカバーの開閉について	2-3
メディアの交換	2-4
ロールメディアの交換	2-4
リーフメディアのセット	2-9
メニューの基本操作	2-12
作図の開始	2-14
[**リセット**] 表示が点滅したら	2-14
作図を中止するには[ブレーク]	2-15
原点（作図原点）の設定	2-16
各種設定値のユーザー選択	2-18
各ユーザー内の設定値を変更したい場合	2-18
ユーザー番号を変更したい場合	2-19
作図方向と分割方式の設定[サク 杉洋]	2-20
用紙の送り量を補正[クリ 杉洋]	2-22
360dpi拡張モード [360dpi カチヨウ]	2-24
インク乾燥時間の設定[カソウジカ]	2-26
インクカートリッジの交換	2-28
ローカルモードでインク残量が少なくなった場合	2-28
作図中にインク残量が少なくなった場合	2-29
インクカートリッジの交換方法	2-30

違う種類のインクに入れ替える場合	2-33
インクを排出する[インクハシュツ]	2-33
インクを充てんする[インクジュウテン]	2-34
ヘッドの保護	2-35
キャッピング	2-35
お手入れ	2-36
外装のお手入れ	2-36

3 章 応用機能

左右端の余白を変更する[マージン]	3-2
重ね塗りの設定[カネ塗り]	3-4
ディスプレイの表示単位の設定[ミリ/インチ]	3-6
同一データの再作図[コピー]	3-8
設定値の優先順位の設定[ウケン シュンイ]	3-10
メディアの吸着力の設定[キウチャク]	3-12
設定値の初期化[セッテイ リセット]	3-14
ディスプレイの表示言語の設定[DISPLAY]	3-16

4 章 メンテナンス機能

各色のヘッドのズレ補正[トット 仔 補正]	4-2
ヘッドのリフレッシュレベルの設定[リフレッシュ]	4-6
ヘッドのクリーニング[クリーニング]	4-8
テスト作図の実行[テスト サズ]	4-10
ワイパのクリーニング[ステーション メンテ]	4-12
ワイパ交換とキャップのクリーニング[ステーション メンテ]	4-15
ワイパの交換	4-15
キャップのクリーニング	4-18
ダンプの実行[ダンプ]	4-20

設定状態の作図[リスト]	4-21
巻き取りセンサーの位置確認[マトリ センサ-]	4-22
テスト作図後のメディア送りの設定 [ヒューセッテイ]	4-23
廃インクタンクの交換方法	4-24

5 章 困ったときは

故障?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
作図できない	5-2
画質不良がでたとき	5-3
白いスジ/カスレが気になる (ヘッド移動方向)	5-3
往復印字でズレが発生する	5-3
色ごとにインクが重ならない	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングエラー	5-4
エラーメッセージ	5-6

付録

A 基本仕様	付録-2
本体仕様	付録-2
双方向パラレルインターフェイス仕様	付録-3
増設受信メモリ仕様	付録-4
B ファンクションメニュー構造	付録-5
C 出力サンプル	付録-6
テスト作図	付録-6
ダンプリスト	付録-7

索引

お問い合わせ先

1章

セットアップ

1章では、本装置の開梱から組み立てまで、またロール紙のセットなど、本装置のセットアップについて説明します。

1

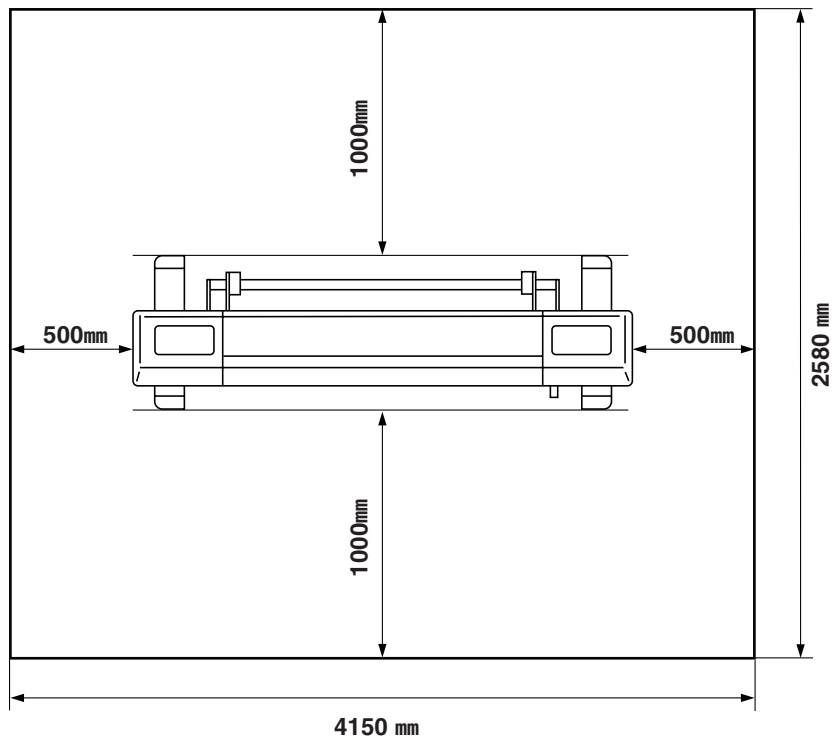
セットアップ

本章の内容

設置場所	1-2
付属品の確認	1-3
各部の名称とはたらき	1-6
ケーブルの接続	1-15
電源のオン/オフ	1-17
各モードについて	1-19
インクカートリッジについて	1-20
インクヘッドについて	1-24
メディアのセット	1-25
本装置の移動	1-40

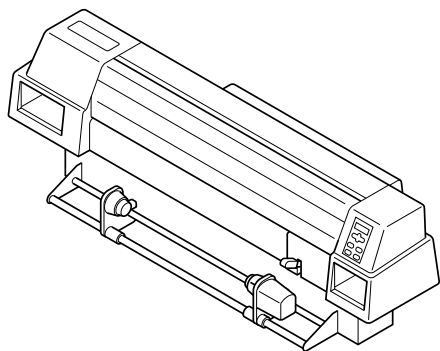
設置場所

下図のように、設置スペースを確保できる場所に本装置を設置してください。

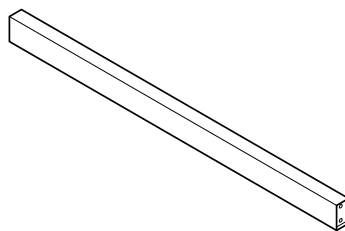


付属品の確認

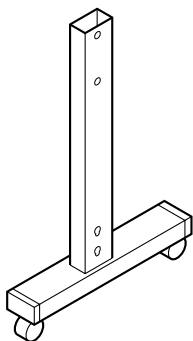
梱包箱を開け、部品を確認してください。
もし不足しているものがありましたら、お買い求めいただいた販売店、または最寄りの販売店、または弊社営業所にお問い合わせください。



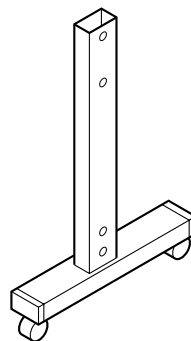
本体



ステー



左脚



右脚



ゴムキャップ 6ヶ



六角レンチ



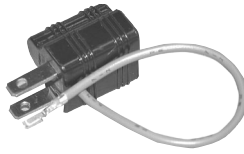
プラスドライバー

7

セットアップ



電源ケーブル



接地アダプタ



廃インクタンクガード



廃インクタンク 2ケ



インクカートリッジ
(各色1ケ)



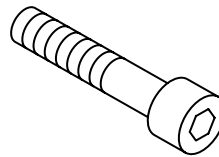
廃インクブラケットL



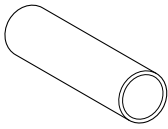
廃インクブラケットR



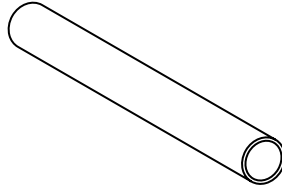
廃インクブラケット取付用ネジ 6ケ



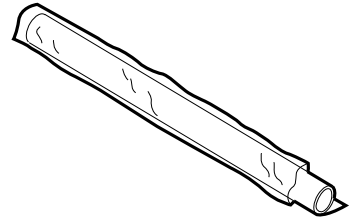
本体取付用ボルト 6ケ



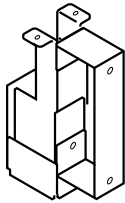
脚組み立て用紙管



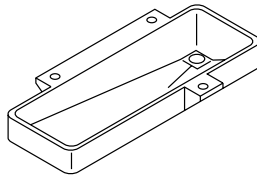
巻き取り用紙管



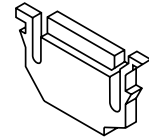
綿ブロード (設置調整用)



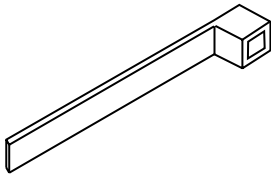
巻き取りセンサー



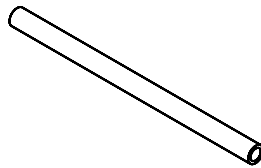
インクシューター



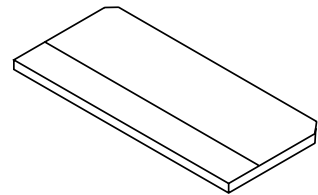
ワイパ 2ヶ



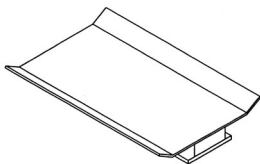
インシュロック



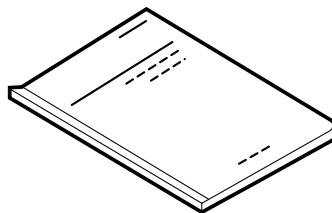
シリコンチューブ



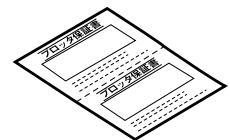
布セット補助板



布浮き防止板



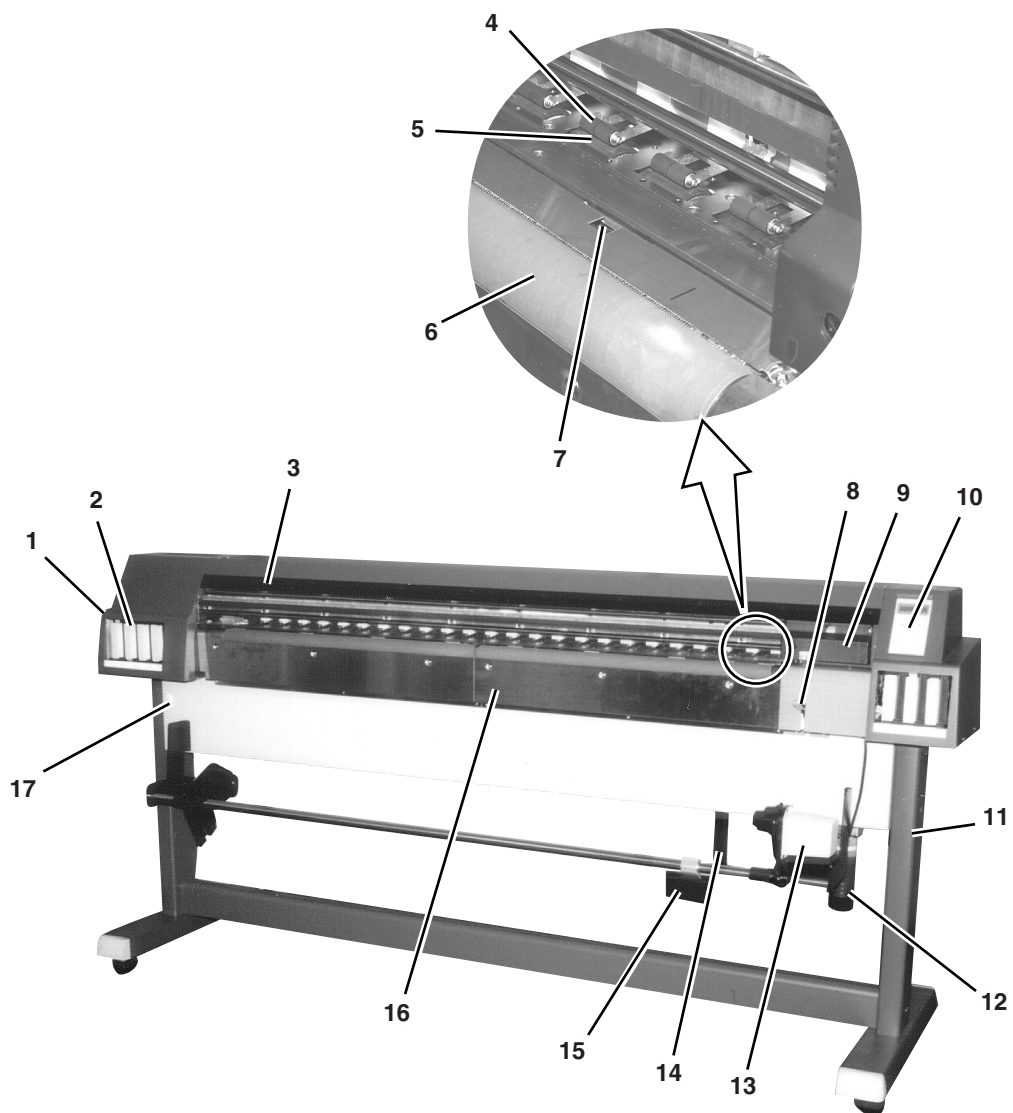
取扱説明書 (本書)



保証書

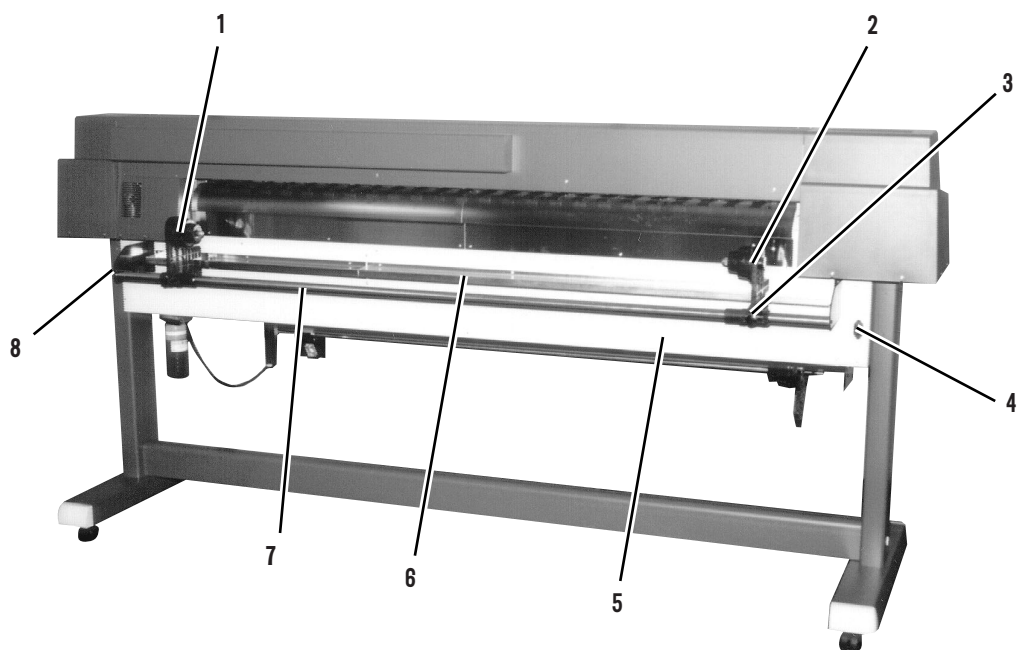
各部の名称とはたらき

前面



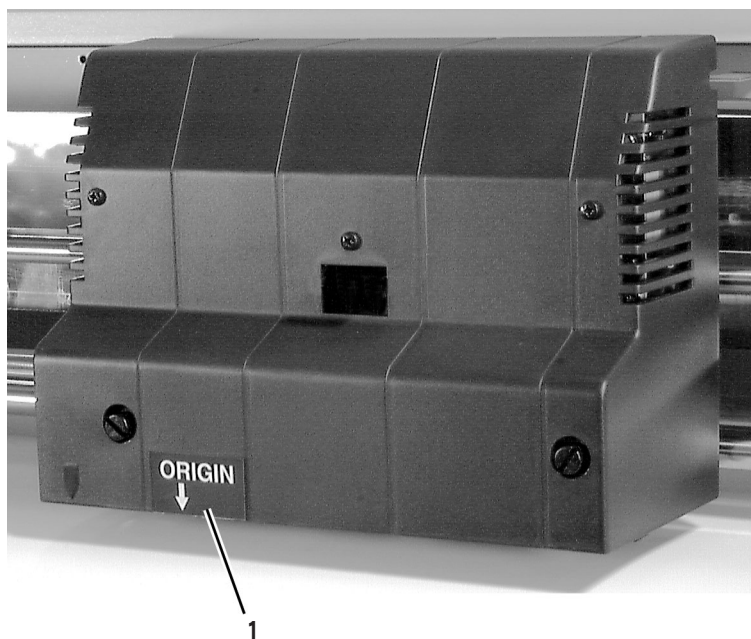
No.	名称	はたらき
1	インクステーション	インクカートリッジをセットします。
2	インクカートリッジ	作図するのに必要なインクが入っています。
3	フロントカバー	メディアをセットするとき、メディア詰まりの処置のときに開けます。
4	ピンチローラ	フィードローラと対になり、メディアを保持し、メディアを前後に動かします。
5	フィードローラ	ピンチローラと対になり、メディアを保持し、メディアを前後に動かします。
6	引っ張りローラ	作図中のメディアのしわや浮き上がりを抑えます。
7	メディアセンサー	メディアの有無やメディアの長さを検出します。
8	クランプレバー	ピンチローラを上下して、メディアを保持／解放します。
9	キャリッジ	印字するためのヘッドを内蔵しています。
10	操作パネル	本装置に必要な設定を行います。
11	脚	本体を支える部分です。本装置を移動するためのキャスタが付いています。
12	廃インクタンク	この中に廃インクが溜まります。
13	巻き取り装置	作図終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。
14	巻き取りセンサー	巻き取り装置の間欠モード時に、メディアのたるみを検出します。
15	反射板	巻き取りセンサーからの信号を反射します。
16	プラテン	プラテンに沿って、メディアを出力します。
17	電源スイッチ	本装置の電源をオン／オフします。

背面



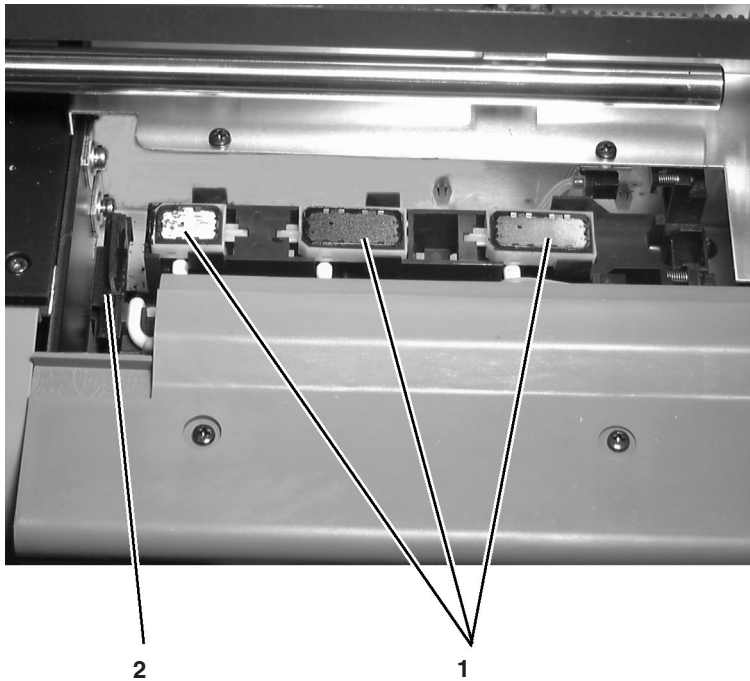
No.	名称	はたらき
1	ロールホルダー	ロールメディアの左右の紙管に入れて、ロールメディアを保持します。2インチおよび3インチの紙管に対応しています。
2	ロールホルダーベース	ロールホルダーを移動するための板です。
3	ホルダーベースネジ	ロールホルダーベースを固定するネジです。
4	ACインレット	電源ケーブルを接続します。
5	電装ボックス	基板等が入っています。危険ですので、お客様による開閉はしないでください。
6	ガイドレール	ロールホルダーを動かすためのガイドです。
7	シャフト	ロールホルダーを動かすためのガイドです。また、ロール紙を取り付けるときに、ロールメディアをのせることができます。
8	パラレルコネクタ	双方向パラレルインターフェイスコネクタです。(IEEE1284準拠)

キャリッジ



No.	名称	はたらき
1	オリジン位置マーク	作図基準になるオリジン（作図原点）を設定するための位置合わせのマークです。

キャッピングステーション



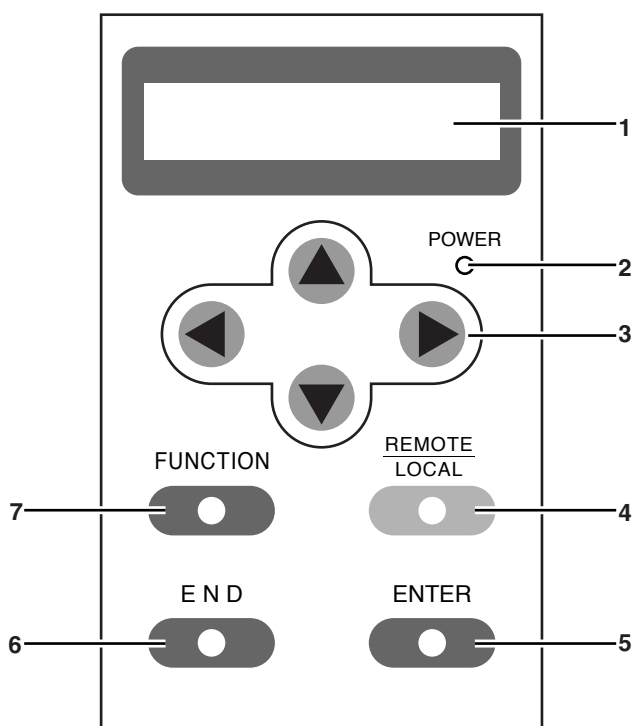
7

セ
ツ
ト
ア
ッ
プ





No.	名称	はたらき
1	キャップ	ヘッドノズルが乾燥しないように、ノズルを覆います。
2	ワイパ	ヘッドノズルをクリーニングします。

操作パネルの名称とはたらき





操作パネルには、キーやランプおよびディスプレイが、次のようにレイアウトされています。



No.	名称	表記方法	はたらき
1	ディスプレイ		1行、16桁で、本装置の状態や機能を設定するメニューなどを表示します。
2	POWERランプ		本装置の電源をオンすると点灯します。(緑色)
3	ジョグキー		ローカルモードで、キャリッジやメディアを移動します。また、設定メニューでは、設定値を選択します。

No.	名称	表記方法	はたらき
④	REMOTE/LOCALキー		リモートモード／ローカルモードを切り替えます。
⑤	ENTERキー		ファンクション機能を選択するとき 사용합니다。また、設定メニューで入力した値を登録します。ローカルモードでジョグキーによりヘッドやメディアを移動し、オリジン（作図原点）を設定します。
⑥	ENDキー		直前に入力した値をキャンセルします。 メディアをセットしたとき（クランプレバーを下げたとき）、メディア幅のみの検出を行います。
⑦	FUNCTIONキー		ファンクション機能を設定するためのファンクションモードに移ります。

ジョグキーのはたらき

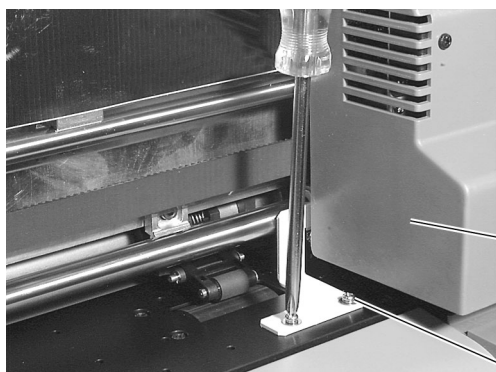
	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	選択肢入力時
	メディア幅とメディア先端を検出します。	キャリッジを左へ移動します。	———	———
	メディア幅とメディア長を検出します。	キャリッジを右へ移動します。	———	———
	———	メディアを奥へ移動します。	1つ前の機能に戻ります。	次の値を選択します。
	———	メディアを手前に移動します。	次の機能に移ります。	1つ前の値を選択します。

ヘッドストッパーの取り外し

ヘッドストッパーは、搬送時にキャリッジを固定します。



★ 搬送時に使用できるように、紛失しないよう注意してください。



① 2ヶのネジを外し、ヘッドストッパーを外します。

ネジとヘッドストッパーは紛失しないよう保管してください。

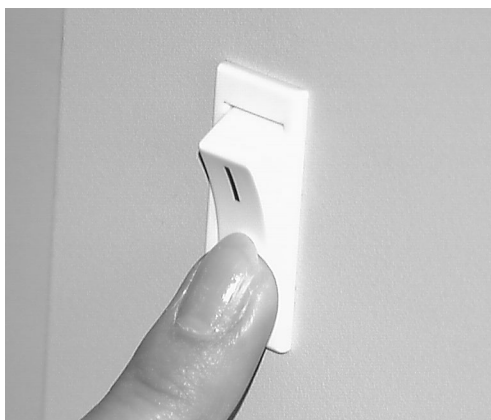
キャリッジカバー

ヘッドストッパー

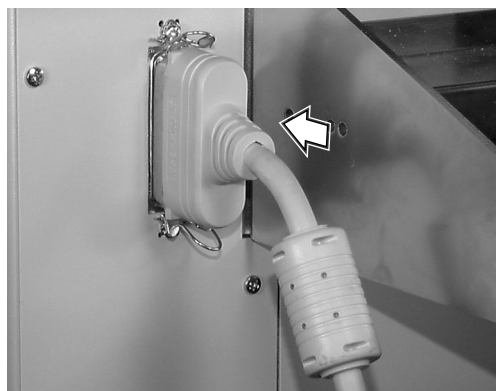
ケーブルの接続

- ★ インターフェイスケーブルおよび電源ケーブルを接続する際は、本装置の電源スイッチをオフ（○側に倒れている状態）にしてから行ってください。
- ★ 電源ケーブルの接続は、必ず本装置および接続するコンピュータの電源をオフにし、インターフェイスケーブル、電源ケーブルの順で行ってください。誤動作の原因になります。

パラレルインターフェイスケーブル



- ① 電源スイッチをオフにします。
本装置およびコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。



- ② ケーブルコネクタを接続します。
インターフェイスコネクタの両サイドのロックスプリングで、ケーブルコネクタを固定します

電源ケーブル

以下の仕様のコンセントに、電源ケーブルを接続してください。

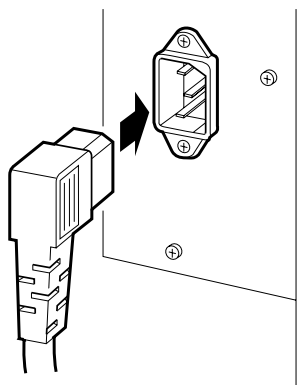
- ・電圧 : AC100 - AC240V±10%
- ・周波数 : 50/60Hz±1%
- ・容量 : 1.5A以上 (100W以上)



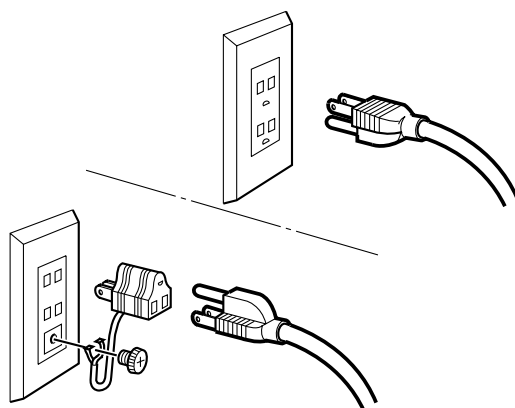
★ 電源ケーブルは、アース処理されたコンセントに接続してください。感電および本装置が破損する恐れがあります。



★ 電源ケーブルを接続するときは、本装置の電源スイッチをオフにしてください。



① ACインレットに電源ケーブルを接続します。



② 電源ケーブルを3極のコンセントに接続します。



2極のコンセントの場合は、電源ケーブルのプラグに付属の接地アダプタを接続します。接地アダプタの緑色の線（アース線）を、アース処理してください。

電源のオン／オフ

以下の手順に従って電源のオン／オフを行ってください。

電源のオン



- ① 接続してあるコンピュータなどの電源をオンにします。

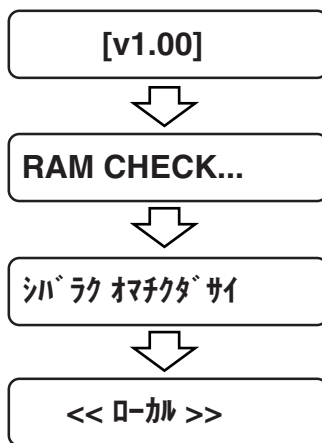
- ② 本装置の電源を入れます。

電源スイッチを「|」側に倒すと、電源がオンになります。

! ★このとき、フロントカバーは閉じておいてください。(⇒P.2-3)

ファームウェアのバージョンを表示した後、RAMのチェックおよび初期動作を実行します。また、メモリを増設している場合は、メモリ容量を表示します。

その後、ローカルモードになります。



電源のオフ

電源をオフにするときは、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないか確認してください。

また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

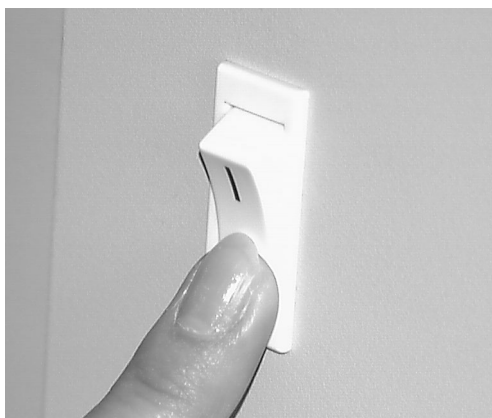


★ 作図中に電源をオフすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとノズル詰まりの原因になります。もし、キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。

① 接続してあるコンピュータなどの電源をオフにします。

② 本装置の電源を切ります。

電源スイッチを「○」側に倒します。



各モードについて

本装置には、次の4つのモードがあります。

ノットレディモード

メディア検出する前のモードです。**REMOTE/LOCAL**キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

メディア検出後のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータからのデータを受信できます。ただし、作図は行いません。

ファンクションモード

ローカルモード時に、**FUNCTION**キーを押すとファンクションモードになります。各ファンクション機能の設定を行います。

リモートモード

受信したデータを作図します。
作図中に、**REMOTE/LOCAL**キーを押すと一時停止します。
REMOTE/LOCALキーのみ有効です。リモートモードとローカルモードを交互に切り替えます。

インクカートリッジについて

取り扱い上の注意



★ インクカートリッジは分解しないでください。



★ インクには直接ふれないようにしてください。誤ってインクを付けてしまったときは、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。



★ インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。



★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。



★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。



★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。



★ インクカートリッジは開封してから6カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。



★ インクカートリッジは冷暗所で保存してください。



★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。



★ 空になったインクカートリッジは、使用している地域の条例に従って処分してください。

インクカートリッジをセットする前に

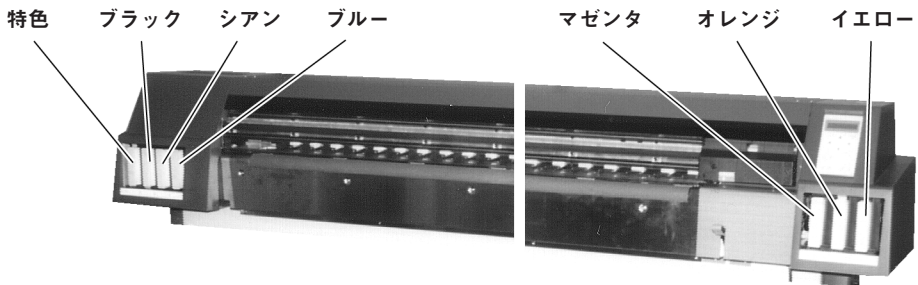


注意

★ インクステーションは、下表のようにセットするインクカートリッジの色が決まっています。インクカートリッジの色を間違わないようにインクステーションにセットしてください。

★ 本装置のディスプレイでは色の名称ではなく、カラー番号で各色を指す表現となっています。本書でも以降は色の名称ではなく、カラー番号で各色を示します。

ステーション番号/ カラー番号	1	2	3	4	5	6	7
インク色	特色	ブラック	シアン	ブルー	マゼンタ	オレンジ	イエロー



ステーション番号1には、特色のインクカートリッジを取り付けます、必要に応じて取り付けてください。



セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

はじめてインクカートリッジをセットするときは



★ インクカートリッジは、次ページの手順②までは、絶対にセットしないでください。

本装置を初めて使用するときは、本装置にインクを充てんする必要があります。以下の手順にしたがって、ステーション番号2から7までのインクカートリッジを取り付けてください。ステーション番号1には特色のインクカートリッジを取り付けます、必要に応じて取り付けてください。

インクの充てん： プリントヘッドにインクを満たして作図できる状態にすることをいいます。



① 電源スイッチをオンにします。

初期動作後、次のメッセージを表示します。

**** ショキカチウ ****



交互に表示します

**** オマチダサイ ****

初期動作後、次のメッセージを表示します。

!カートリッジ



交互に表示します

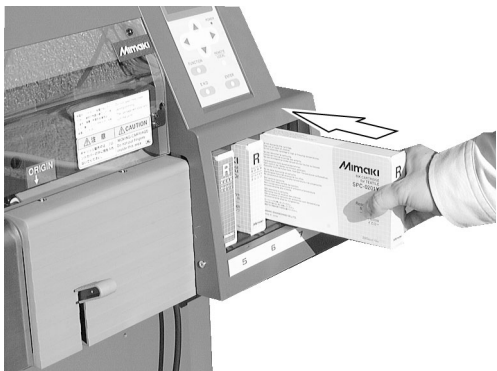
[234567]

インクカートリッジが取り付けしていないステーション番号を表示します。



注意

★1番のインクステーションには特色インクが入ります。特色インクを使用しない場合は、1番のステーション番号は表示しません。



- ② インクステーション番号に対応した色のインクカートリッジを差し込んでください。



注意

★必ず、手順①のディスプレイ表示をしてから、インクカートリッジを差し込んでください。

- ③ 自動的にインクの充てんを開始します。

インクの充てんが終わると、ローカルモードになります

** ジュウテン **



<< ローカル >>

7

セットアップ

インクヘッドについて

本装置では、特色以外は3色が一体のヘッドを使用しています。

ステーション番号/ カラー番号	1	2	3	4	5	6	7
色	特色	ブラック	シアン	ブルー	マゼンタ	オレンジ	イエロー
対応ヘッド	左端のヘッド に1色分	中央のヘッドに3色分			右端のヘッドに3色分		



注意

- ★ 本装置のディスプレイでは色の名称ではなく、カラー番号で各色を指す表現となっています。
本書でも以降は色の名称ではなく、カラー番号で各色を示します。



注意

- ★ クリーニング、インク充てん等はヘッド単位で行います。カラー番号2～4、および5～7内で各色を個別にクリーニング、インク充てん等行うことはできません。



注意

- ★ インクステーション1には、特色のインクカートリッジを装着できます。特色を使用しない場合は、インクカートリッジを取り付ける必要はありません。特色インクカートリッジを取り付けておくと、特色を使用しない場合でもクリーニング動作等でインクは消費されます。
特色を使用する場合は、インクステーション1に特色のインクカートリッジを差し込んでください。自動的にインク充填を行います。インク充填が終了すると、特色インクが使用可能になります。以降は、インクカートリッジの有無およびインク残量検出の対象になります。

メディアのセット

メディアセンサーのはたらき

プラテン上には、2ヶのメディアセンサーがあります。
メディアセンサーは、メディアの有無とメディアの長さを検出します。



★ 透明なメディアや裏面が黒いメディアをお使いになると、ディスプレイに次のメッセージを表示し、メディアを検出できない場合があります。

* メディアが アリマセン *

メディア検出方法

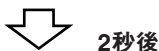
メディア取り付け後、クランプレバーを下げることにより、メディアの幅を検出します。

<< ローカル >>

- ① クランプレバーを下げます。
プロッタは検出動作を行います。

X=*** Y=123

- ② 検出終了後、サイズを表示します。
(2 秒間)



<< ローカル >>

- ③ ローカルモードになります。



● 初期値では、クランプレバーを下げるとメディアの幅のみを検出するように設定してあります。メディアの検出方法を[セレクト]に設定すると、メディアの前端、メディア長またはメディア幅のいずれか3種類を検出できるよう設定できます。(⇒ P.1-26)

メディア検出の設定[メディア ケンシツ]

メディアの検出は、初期値ではメディアの幅のみを検出するように設定されています。


メディア検出の設定を[ハバ]から[セレクト]に変えることで、下記の3種類のいずれかを検出できるように設定できます。

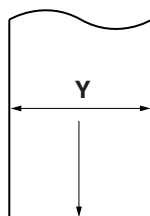
メディア検出の設定を[セレクト]に変えると、クランプレバーでメディアを保持すると、次のように表示します。



このとき、メディア検出の方法を選択します。


● ロール：

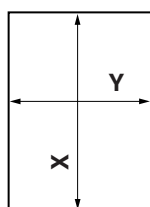
 キーを押すと、キャリッジがメディア幅を検出した後、メディアを巻き戻しメディアの先端を検出します。



X=**** Y=1270

● リーフ：

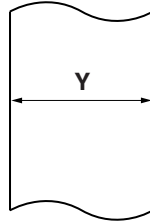
 キーを押すと、キャリッジがメディア幅を検出した後、メディアを前後にフィードしてメディア長を検出します。



X=2450 Y=1270

● ハバ:

END キーを押すと、キャリッジがメディア幅のみを検出します。この動作は、メディアを長く引き出している時に、メディア長の検出する時間を省くことができます。



手前

X=**** Y=1270



注意

★ メディア長の検出を行うと、コンピュータから受信したデータがセットしたメディアより大きな場合、はみ出た部分は作図できません。
メディア長の検出を行わないと、メディアセンサーから外れた時点で作図動作が終了してしまいます。

<< ローカル >>

① ローカルモードを表示します。

リモートモードの時は、

REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

② **FUNCTION** を1回押します。

セッテイ <ENT>

③ または で[セッテイ]を表示します。④ **ENTER** を押します。

セッテイ :ユーザー-1

⑤ 設定したいユーザー番号を選択して、**ENTER** を押します。

セッテイ :ユーザー-4

メディア ケンシュツ<ent>

⑥ または で [メディア ケンシュツ] を表示します。

⑦ を押します。

ケンシュツ :セレクト

⑧ キーで [セレクト] を選択します。

ケンシュツ :H/A

⑨ を押します。



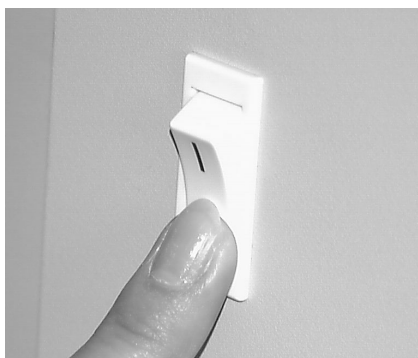
●電源を切っても設定は記憶しています。

布浮き防止板の取り付け

作図中のメディアジャムを防ぐため、布浮き防止板を取り付けます。



- ★ 必ず電源をオフにしてから、取り付けを行ってください。
- ★ 取り付ける際には、布浮き防止板の向きに注意して取り付けを行ってください。
- ★ 取り付け後は必ず、ヘッドを動かし、ヘッドと布浮き防止板が干渉しないことを確認してください。

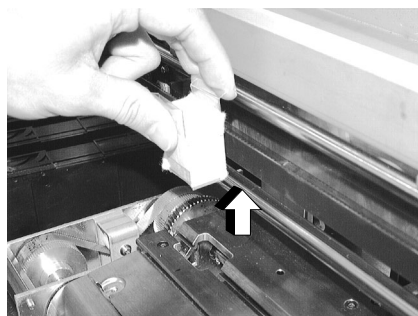


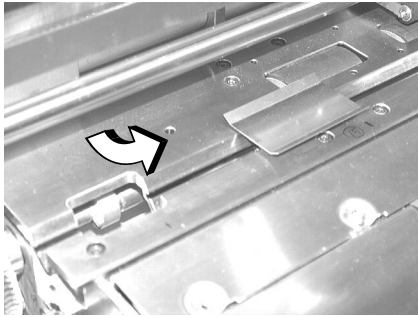
1. 本装置の電源をオフにします。

2. ヘッドが右端に移動します。

3. フロントカバーを開けます。

4. 左端にある、脱脂綿を取り除きます。

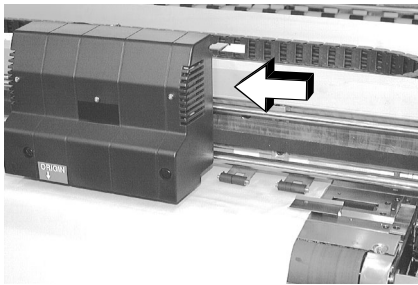
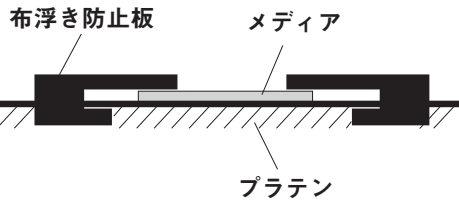




5. 布浮き防止板2個をプラテンに差し込んで取り付けます。



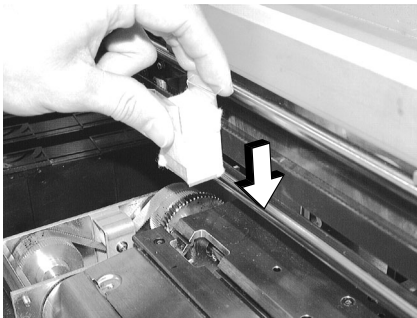
★布浮き防止板の向きに注意して取り付けてください。



6. ヘッドを手でずらし、ヘッドと布浮き防止板が干渉していないことを確認します。



★干渉していると、ヘッドが動かず作図ができなくなります。

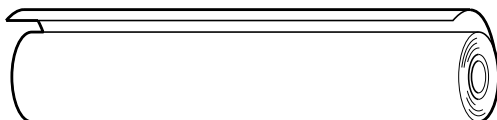


7. 脱脂綿を元に戻す。
8. フロントカバーを閉じます。
9. 電源をONにしてください。

ロールメディアのセットと布浮き防止板の使用法

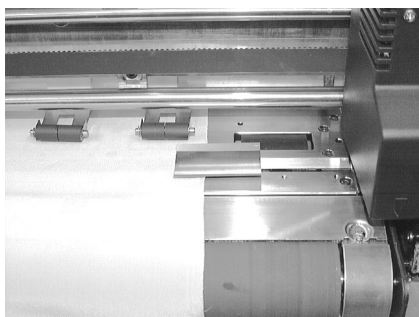
本装置にロールメディアを取り付けます。ロールメディアは、専用メディアを使用してください。

紙管の内径	: 2インチおよび3インチ
巻き径	: 200mm以下
幅	: 1650mm以下 (65インチ以下)
作図面	: 外面
重さ	: 15kg以下
紙管との接着	: 弱粘着テープで接着しており、メディア終了後は紙管から容易にはずせること。



警告

★ ロールメディアは重いので、足などに落とさないように注意してください。



- ① メディアが毛羽だっている場合は、付属の布浮き防止板を使用してください。

メディアの右端が毛羽だっているとヘッドを汚したり、メディアを汚す原因になります。



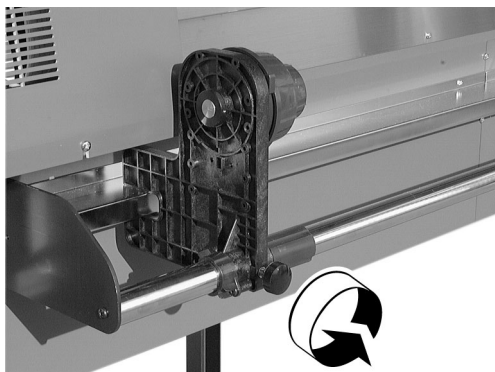
注意

★ 布浮き防止板使用時でのメディアの厚さは、0.8mm以下です。0.8mm以上のメディアを使用すると、正常にメディア送り画できなくなり、ジャムや作図品質に影響します。

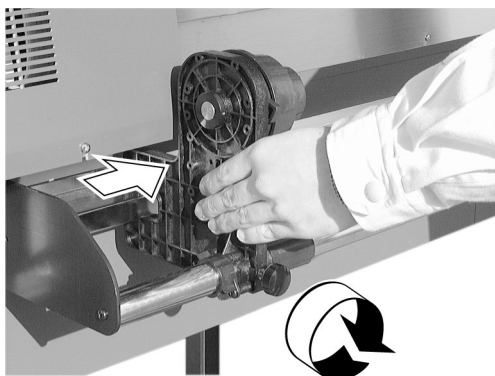
★ 布浮き防止板はメディア端から20mm以内にセットしてください。20mm以上でセットした場合は作図が欠ける場合があります。

★ メディアが布浮き防止板の上にならないよう、メディアをセットしてください。

- ② 布浮き防止板を左右両端に移動させます。

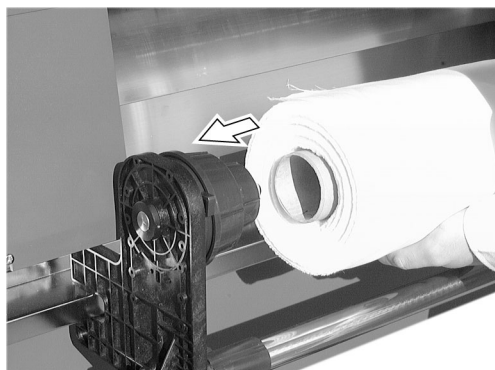


- ③ 左右のロールホルダーのネジをゆるめます。



- ④ 左側のロールホルダーを位置合わせします。

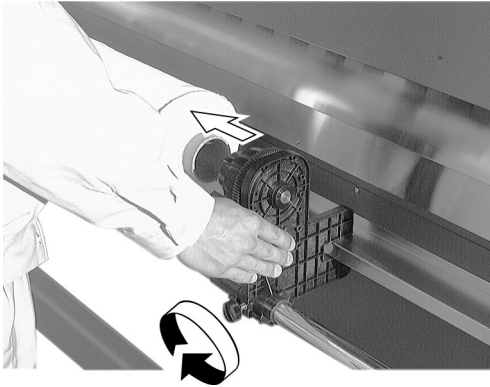
ロールホルダーのネジを締めます。



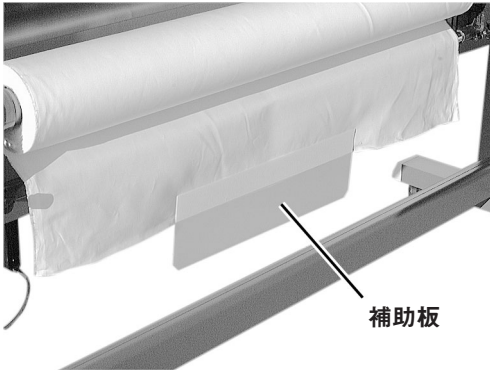
- ④ 左側のロールホルダーにロールメディアを入れます。



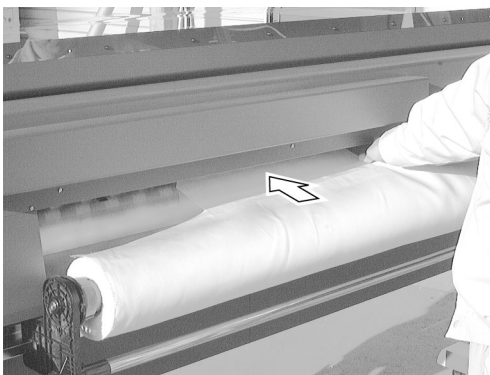
● ガイドレールとシャフトの上にロール紙を置くと、ロールホルダーに紙管を入れるのが容易です。



- ⑤ ロールメディアの右側に、右側のロールホルダーを入れます。
ロールホルダーのネジを締めます。



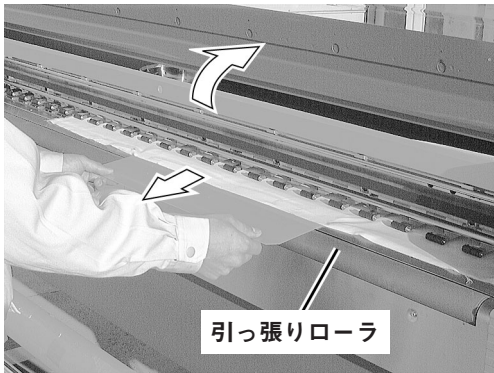
- ⑥ メディアのセットを容易にするため、メディアの中央に補助板を貼り付けます



- ⑦ 補助板を貼り付けたメディアを、背面からフィードローラとピンチローラの間に入れます。

7

セットアップ



- ⑧ フロントカバーを開け、メディアを引っ張りローラより手前に引き出します。

カバーを開けると、次のエラーを表示します。手順⑬までは、**ENTER** は押さないでください。

エラー41 モーターアラームY



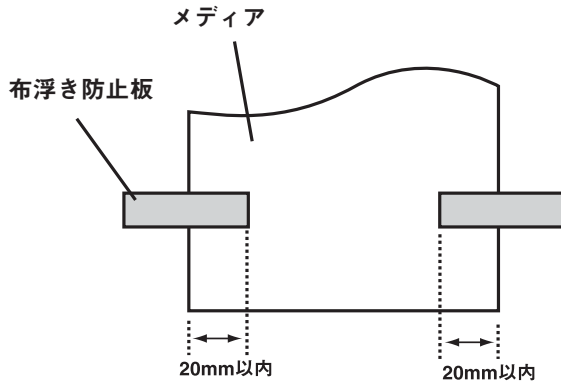
<ENT>ヲ オシテクダサイ



- ⑨ 補助板をとり、シワにならないように、メディアを引っ張り出します。



- ⑩ 後方からメディアを引っ張り、メディアの傾けやタルミをなくします。



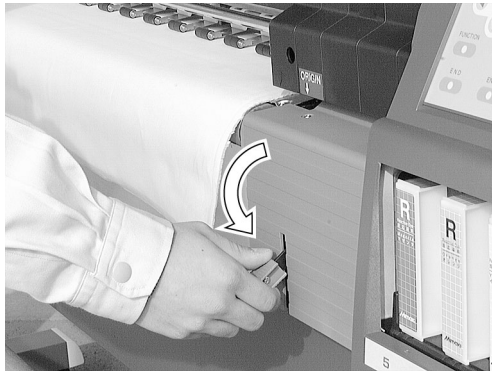
- ⑪ メディアの端に布浮き防止板をセットします。



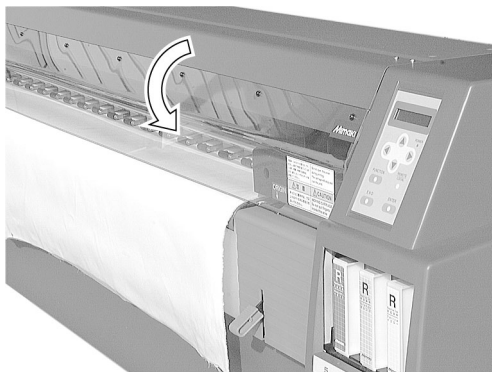
注意

★メディアが布浮き防止板の上にならないよう、メディアをセットしてください。

★布浮き防止板はメディア端から20mm以内にセットしてください。20mm以上でセットした場合は作図が欠ける場合があります。



- ⑫ クランプレバーを下げます。



- ⑬ フロントカバーを閉じます。

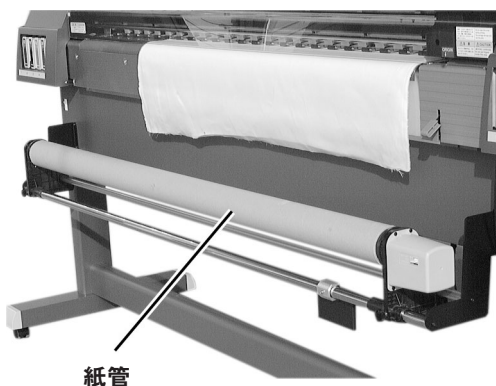
- ⑭ **ENTER** キーを押します。

初期動作の後に、メディア検出を行います。

巻き取り装置へのメディアの取り付け

作図したメディアを巻き取り装置にて巻き取ります。
巻き取り装置を動かすには、下記の2点を設定してください。

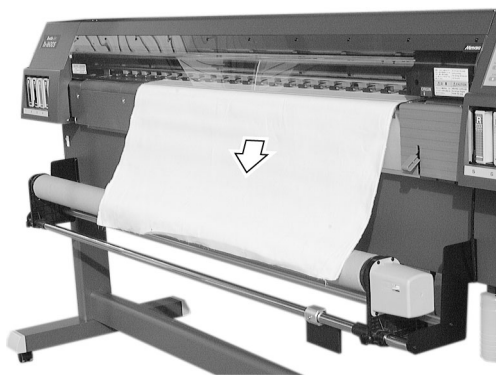
- ・巻き取り装置の巻き取り方向 (⇒ P.1-37)
- ・巻き取り装置の動作モード設定 (⇒ P.1-38)



紙管

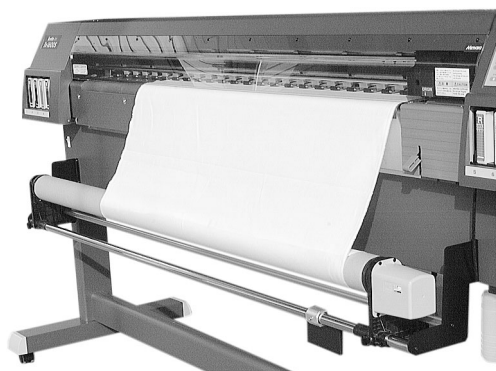
① 巻き取り装置に付属の紙管をセットします。

セット方法は、「ロールメディアのセット」と同じです。



② メディアの前端を紙管の位置まで引き出します。

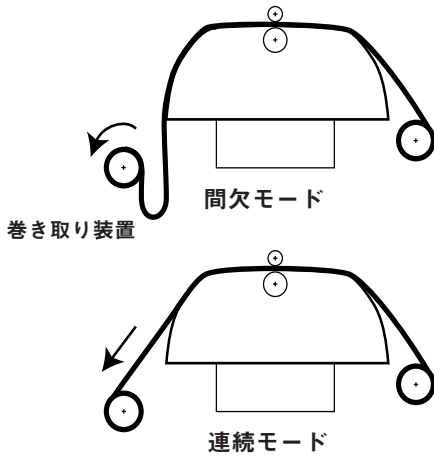
メディアがクランプされている場合は、でメディアを送り出し、**ENTER**を押します。



③ メディアの前端を粘着テープで紙管に貼り付けます。



- メディアのたるみを無くし、左右が均等に張るように貼り付けます。



- ④ 巻き取り装置の動作モードが[か
ヶツ]に設定してある場合は、
を押します。

メディアが、左図のようにたるんだ状
態で **ENTER** を押します。

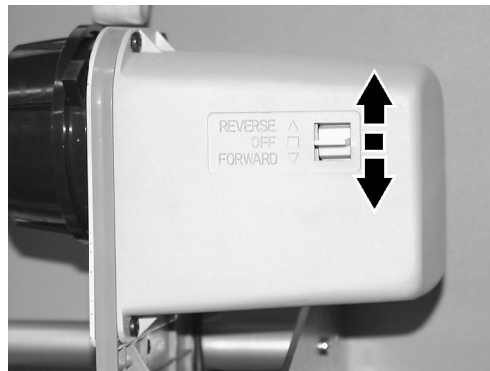
1

セ
ツ
ト
ア
ッ
プ

巻き取り装置の巻き取り方向

巻き取り装置には、メディアの巻き取り方向を設定するスイッチ
があります。

必要に応じて設定してください。



- FORWARD : 作図面を外側にして巻き取ります。
OFF : 巻き取りを行いません。
REVERSE : 作図面を内側にして巻き取ります。

巻き取り装置の動作モード設定 [マトリ]

巻き取り装置の動作モードを設定します。

各ユーザーごと（ユーザー1からユーザー4）に設定できます。

■パラメータ（選択肢入力）

OFF : 巻き取り装置は動作しません。

カンケツ : 巻き取り装置は、メディアのたるみを一定に保つよう駆動/停止を繰り返します。

レンゾク : 作図中は、常に巻き取り装置が動きメディアのたるみをなくします。

- 使用するメディアによって、動作モードを設定します。

伸縮性のあるメディア：間欠モード

伸縮性のないメディア：連続モード

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、

REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を1回押します。

セッテイ <ENT>

- ③ **△** または **▽** で、[セッテイ]を表示します。

セッテイ : ユーザー1

- ④ **ENTER** を押します。

セッテイ : ユーザー4

- ⑤ **▽** または **△** で、設定したいユーザー番号を選択します。

サクス ホウシキ <ent>

- ⑥ **ENTER** を押します。

設定機能に入ります。

マキトリ <ent>

マキトリ :カンケツ

マキトリ :レンゾク

<< ローカル >>

⑦ または で、[マキトリ]を表示します。

⑧ を押します。
設定値の変更が可能になります。

⑨ または で、設定値を選択します。

⑩ を押します。
値を登録します。
 を数回押して、ローカルモードに移ります。

本装置の移動

本装置を組み立て後、設置場所などへの移動方法について説明します。

移動するときは、キャスタのストッパのロックを解除してください。

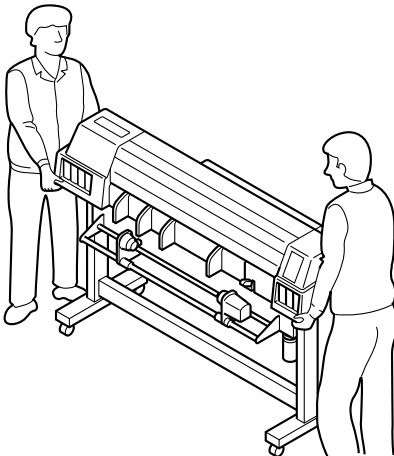


★ 移動する時は、大きな振動を与えないでください。



★ 移動後は、必ずキャスタのストッパをロックしてください。

移動方法



本装置を移動するときは、2人以上で図のように運んでください。

カバーを押すと割れる場合があります。

キャスタのロック

脚のキャスタ横には、レベルフットが付いています。

本装置を移動するときは、レベルフットを回して、床に着かないようにします。

本装置を設置するときは、レベルフットを回して、本装置が水平またはインクカートリッジ側が少し高くなるように、高さを調整します。

2章

基本動作・基本機能

2章では、メディアの交換、インクカートリッジの交換などの基本動作、および通常行なう基本機能について説明します。

本章の内容

有効作図エリア	2-2
フロントカバーの開閉について	2-3
メディアの交換	2-4
メニューの基本操作	2-12
作図の開始	2-14
作図を中止するには[データクリア]	2-15
原点（作図原点）の設定	2-16
各種設定値のユーザー選択	2-18
作図方向と分割方式の設定[サズ ^o ホシキ]	2-20
用紙の送り量を補正[オクリ 紙イ]	2-22
インク乾燥時間の設定[カンソウジカン]	2-24
インクカートリッジの交換	2-26
違う種類のインクに入れ替える場合	2-31
ヘッドの保護	2-33
お手入れ	2-34

2

有効作図エリア

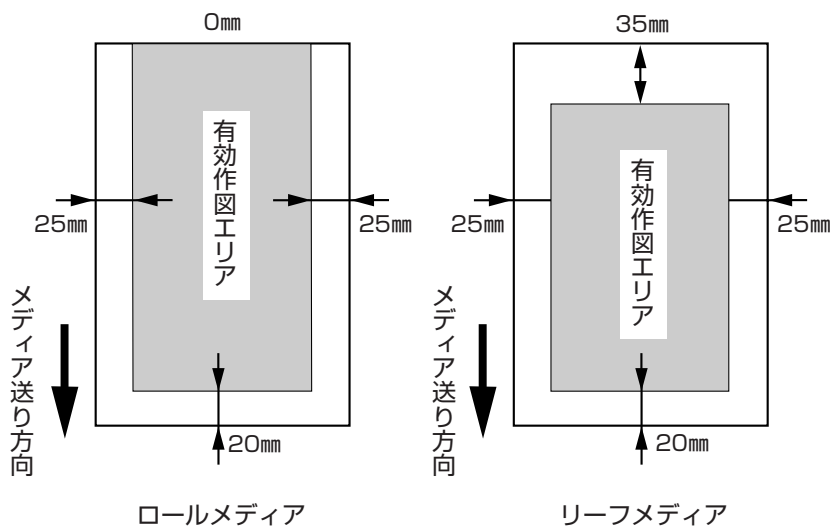
本装置は、機構上作図できないエリアがあります。このエリアを「デッドスペース」といいます。

メディアサイズからこのデッドスペースを除いたエリアが、有効作図エリアになります。

通常、次の図のようにメディアの端から左右に25mmがデッドスペースになります。

また、ロールメディアでは手前側は20mm、奥側は0mmになります。

リーフメディアでは手前側は20mm、奥側は35mmになります。



フロントカバーの開閉について

作図中に、フロントカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し作図を終了します。

この場合、次の手順で本装置およびコンピュータを起動し直してください。


エラー41 モーターアラーム Y



<ENT>ヲオシテクダサイ

シバラクオマチクダサイ

- ① 作図中にカバーを開けると、左のようなメッセージを表示します。

- ② コンピュータからのデータ送信を停止した後に、キーを押します。

この時、コンピュータに異常が発生した場合、コンピュータの電源を入れ直してください。

- ③ キャリッジが動き始めます。
本装置の電源を入れたときと同じ動作を行います。(初期動作)

2

メディアの交換

ロールメディアの交換

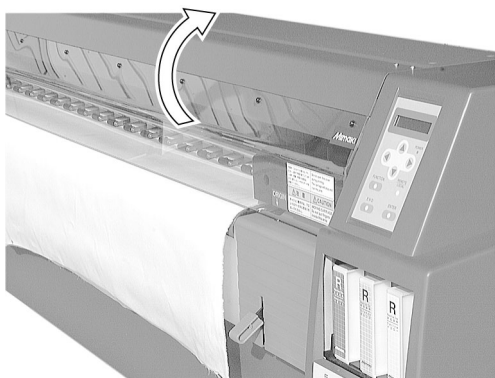
作図中ロールメディアがなくなると、ディスプレイに次のメッセージを表示します。

***メディア ガアリメン ***



- [データクリア]を実行すると、その時作図中であったデータ、未作図状態で受信済のデータは、全てクリアします。

次のようにして新しいロールメディアと交換してください。



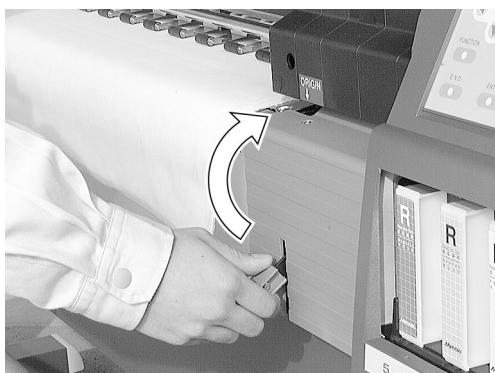
① フロントカバーを開けます。

安全のため、モータの動作が停止します。ここでは、まだ **ENTER** キーは押しません。

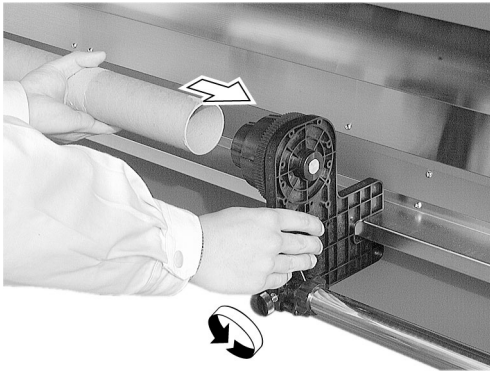
E7-41 モータアラーム



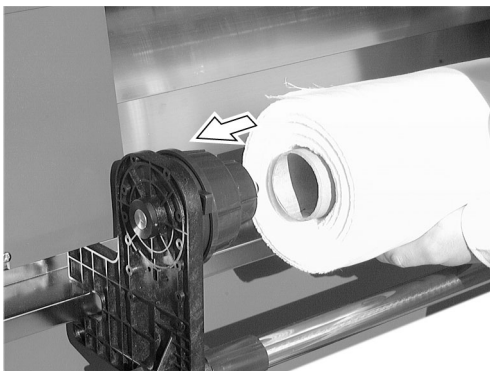
<ENT>ヲオシテクダサイ



② クランプレバーを上げ、メディアを外します。



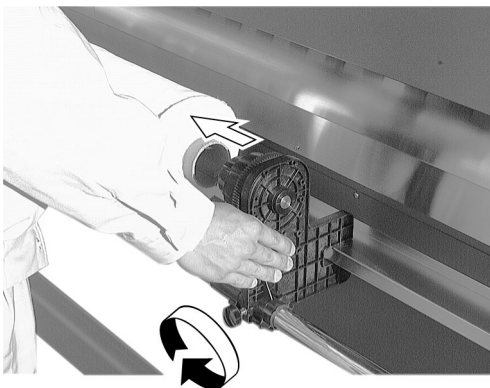
- ③ 右側のロールホルダーのネジを緩め、ロールホルダーから空の紙管を外します。



- ④ 左側のロールホルダーにロールメディアを入れます。



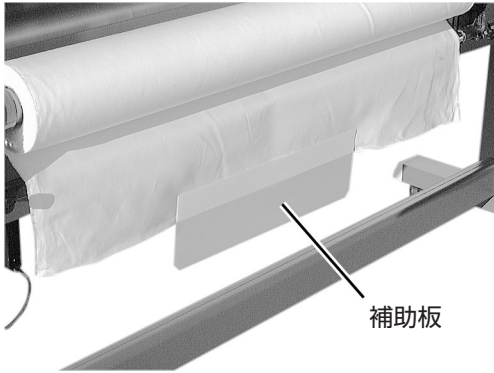
● ガイドレールとシャフトの上にロールメディアを置くと、ロールホルダーに紙管を入れるのが容易になります。



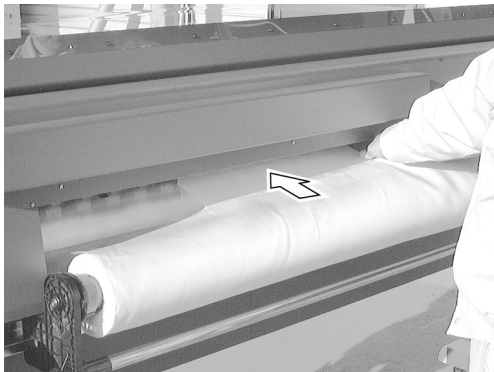
- ⑤ ロールメディアの右側に、右側のロールホルダーを入れます。
ロールホルダーのネジを締めます。

2

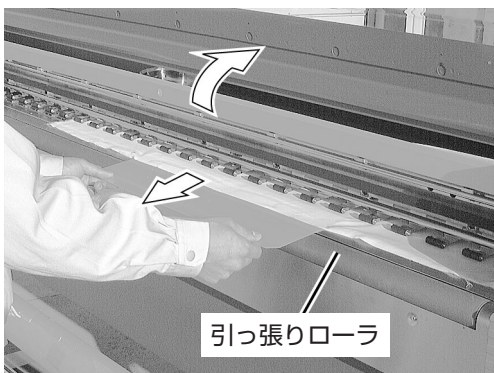
基本動作・基本機能



- ⑥ メディアのセットを容易にするため、メディアの中央に補助板を貼り付けます。



- ⑦ 補助板を貼り付けたメディアを、背面からフィードローラとピンチローラの間に入れます。



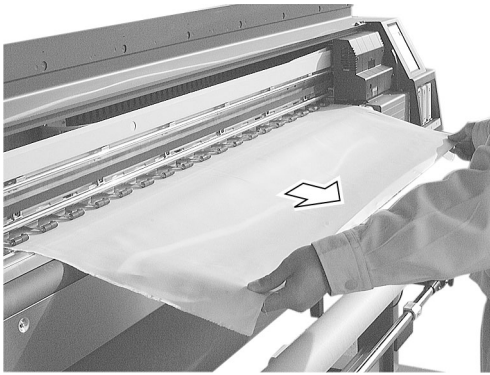
- ⑧ フロントカバーを開け、メディアを引っ張りローラより手前に引き出します。

カバーを開けると、次のエラーを表示します。手順⑫までは、**ENTER** は押さないでください。

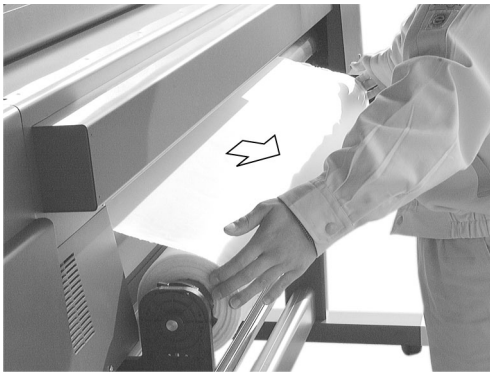
エラー41 モーターアラーム



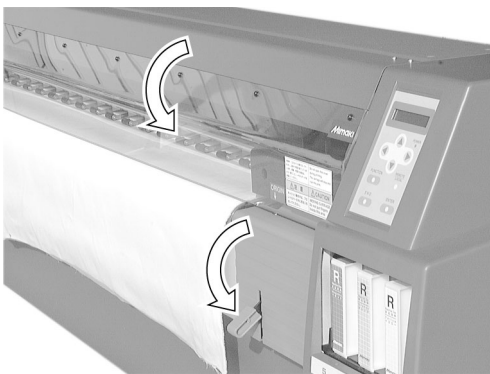
<ENT>ヲ オシテタガサイ



- ⑨ 補助板をとり、シワにならないように、メディアを引っ張り出します。



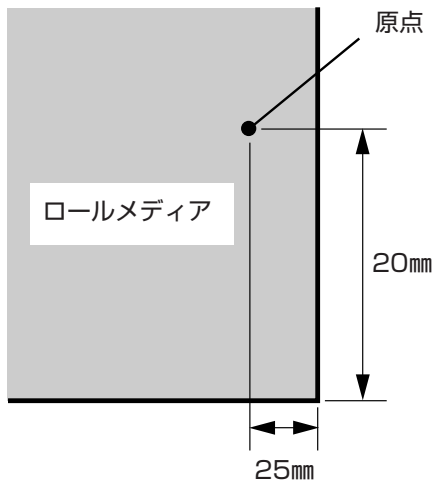
- ⑩ 後方からメディアを引っ張り、メディアの傾きやタルミをなくします。



- ⑪ クランプレバーとフロントカバーを下げます。

2

基本動作・基本機能



⑫ **ENTER** キーを押します。

初期動作の後に、メディア検出を行います。

メディア検出後、サイズを表示しローカルモードになります。

X=** Y=1270**



<< ローカル >>

原点(作図原点)は、自動的に左図の位置になります。

リーフメディアのセット



- ★ リーフメディアを使用する場合は、メディア検出設定を[セレクト]に設定してください。メディア検出の際は、[リーフ]を選択してください。(⇒P.1-26)



- ① フロントカバーを開け、リーフメディアをセットします。

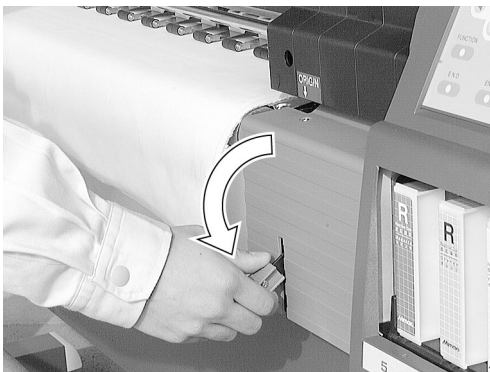
ここでは、まだ **ENTER** キーは押しません。

リーフメディアは、フィードローラとピンチローラの間に入してください。

I7-41 モーターアラーム



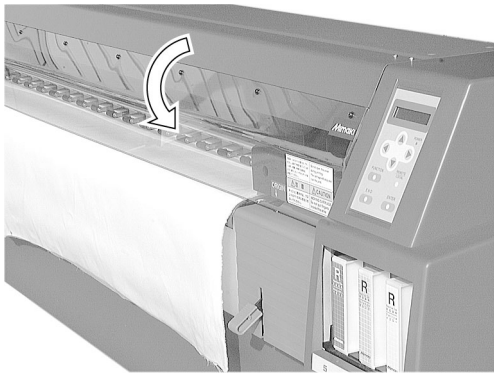
< ENT > を オシテタ ガイ



- ② クランプレバーを下げます。

2

基本動作・基本機能



③ フロントカバーを閉じます。

④ **ENTER** キーを押します。

初期動作の後に、メディア検出の表示に変わります。

シバラク オマチダサイ




ロール< >リーフ



交互に表示します

ハイ : END

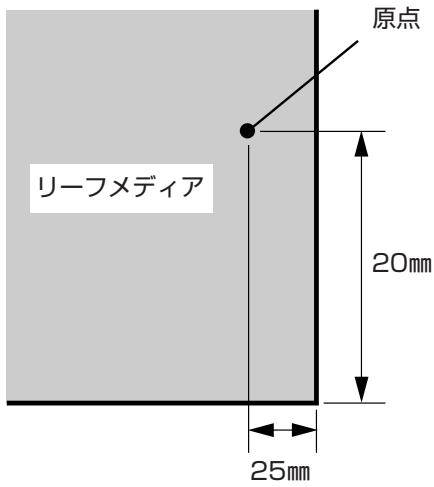
⑤ [リーフ]を選択します。

 キーを押します。キャリッジとメディアが動き、幅と前後端を検出します。



● **END** キーを押すと、幅のみ検出します。

メディア検出後、サイズを表示しローカルモードになります。



原点(作図原点)は、自動的に左図の位置になります。

X=241 Y=201



<< ローカル >>

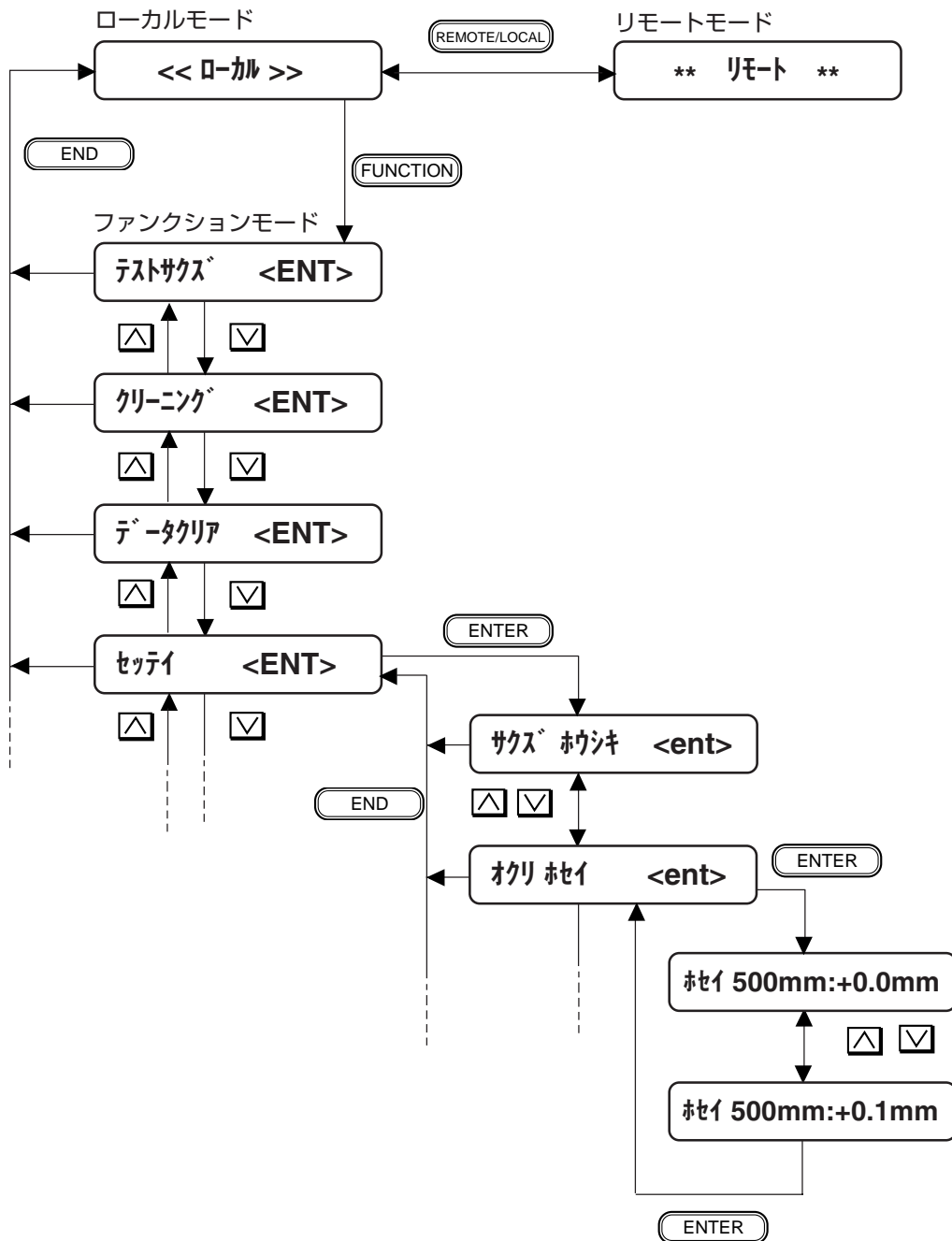
2

基本動作・基本機能

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。

各メニューに入るキー操作は、次の図のようになります。

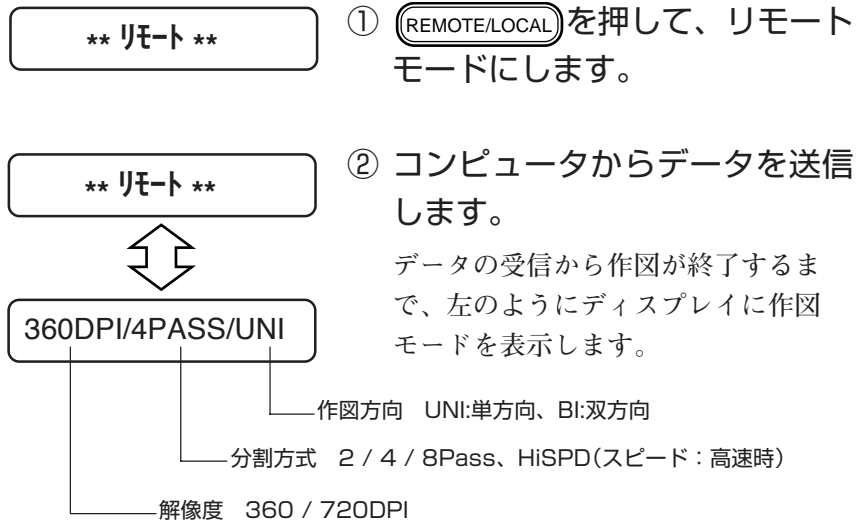


- ① ローカルモードにします。
リモートモードにしても作図しないことを確認してから、
REMOTE/LOCAL を押してローカルモードにします。
- ② ファンクションモードに入ります。
FUNCTION を押すと、ファンクションモードに入ります。
- ③ ファンクション機能を選択します。
FUNCTION を押し続けるか、**▼** または **▲** を押すとファンクション機能を選択できます。
- ④ 選択したファンクション機能に入ります。
ENTER を押します。
- ⑤ パラメータを選択します。
▼ または **▲** を押して、パラメータを選択します。
- ⑥ 設定を登録します。
ENTER を押します。
- ⑦ ローカルモードに戻ります。
END を数回押して、ローカルモードに戻ります。

作図の開始

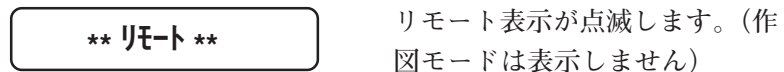
メディアをセットしリモートモードに切り換えることにより作図が可能になります。

コンピュータからのデータの受信は、ローカルモードでも可能ですが、実際に作図を行うときはリモートモードにしてください。



[リモート **]** 表示が点滅したら

何らかの原因でコンピュータからのファイルの転送中、データ受信が約30秒間停止すると、下記の表示が点滅します。



この場合、**REMOTE/LOCAL** を押して、ローカルモードにします。

その後、データクリア機能を実行してください。(⇒P.2-15)

作図を中止するには[データクリア]

作図を中止する場合、受信したデータを受信バッファからクリアします。

<< ローカル >>

- ① 作図中に **REMOTE/LOCAL** を押します。

ローカルモードになり、一時停止状態になります。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を 1 回押します。

データクリア <ENT>

- ③ **△** または **▽** で [データクリア] を表示します。

<< ローカル >>

- ④ **ENTER** を押します。

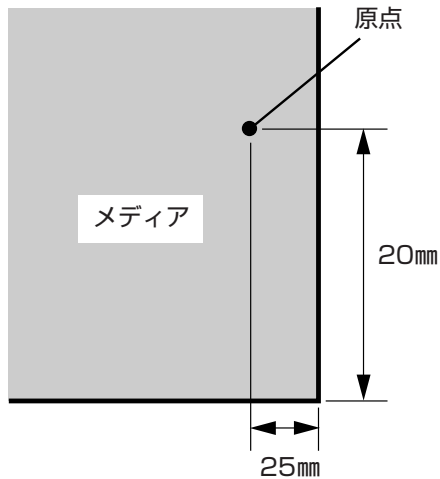
受信バッファの内容をクリアします。

2

基本動作・基本機能

原点(作図原点)の設定

セットしたメディア上に、データ上の原点を設定します。
メディアをセットしてメディアのサイズ検出を行うと、自動的に
下図の位置に原点を設定します。



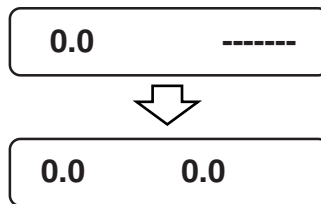
しかし、ロールメディアなど作図エリアが広く別の場所に作図したい場合は、原点を再設定する必要があります。

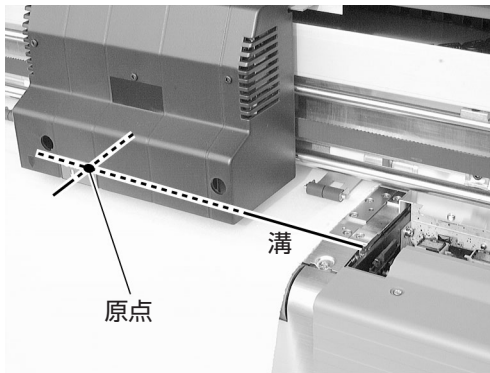
- ① メディアをセットして、ローカルモードにします。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。

- ② **◀** を 2 回押します。

メディアとヘッドが、現在設定してある原点位置まで移動します。





- ④ ジョグキーで、原点を設定したい場所にキャリッジを移動します。

キャリッジの「ORIGIN ↓」マークと、手前にある幅 3 mmの溝の交差箇所が原点になります。

300.0 549.0

- ⑤ **ENTER** を押して、原点を登録します。

作図可能なエリアを表示し、ローカルモードになります。ロール紙に原点を設定すると、ディスプレイに「X=****」と表示します。

300.0 549.0

↓ (現在の原点位置からの座標)

** ゲンテン **

↓

X=**** Y=640

↓ (有効作図エリア)

<< ローカル >>

各種設定値のユーザー選択

本装置では、作図方式などの下記の設定値をユーザーが1～4まで、最高4種類のユーザー設定が可能です。

各ユーザーごとに設定できる項目は、以下の通りです。

- ・作図方式(作図方向、作図速度、分割方式)
- ・メディア送り補正
- ・重ね塗り回数
- ・乾燥時間(スキャン毎、1ファイル終了時)
- ・優先順位
- ・右マージン変更値
- ・リフレッシュレベル設定
- ・メディア検出方法
- ・巻き取り装置の動作モード
- ・吸着ファン強弱
- ・ミリ/インチ表示設定

■パラメータ(選択肢入力)

ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3、ユーザー4

各ユーザー内の設定値を変更したい場合

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは
REMOTE/LOCAL、を押します。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を1回押します。

セッテイ <ENT>

- ③ または で、[セッテイ]を表示します。

- ④ **ENTER** を押します。

セッテイ :ユーザー1

- ⑤ または で、設定したいユーザー番号を表示します。

セッテイ :ユーザー4

- | | |
|-----------------------------|---|
| サクス [°] ホウシキ <ent> | ⑥ ENTER を押します。
設定機能に入ります。各項目の設定変更を行います。 |
| セッテイ <ENT> | ⑦ 設定が終了したら、 END を押します。 |
| << ローカル >> | ⑧ もう一度 END を押すと、ローカルモードに戻ります。 |

ユーザー番号を変更したい場合

- | | |
|-----------------------------|---|
| << ローカル >> | ① ローカルモードを表示します。
リモートモードのときは REMOTE/LOCAL を押します。 |
| テストサクス [°] <ENT> | ② FUNCTION を1回押します。 |
| セッテイ <ENT> | ③ <input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、[セッテイ]を表示します。 |
| | ④ ENTER を押します。 |
| セッテイ :1-ザ [°] -1 | ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、設定したいユーザー番号を表示します。 |
| セッテイ :1-ザ [°] -4 | |
| サクス [°] ホウシキ <ent> | ⑥ ENTER を押します。 |
| セッテイ <ENT> | ⑦ END を数回押して、ローカルモードに戻ります。 |

作図方向と分割方式の設定[サクス 枠枠]

作図方向(単方向、双方向)、作図速度(標準、高速)および分割方式(8pass、4pass、2pass)を設定します。
ユーザー 1 からユーザー 4 に設定できます。

■パラメータ(選択肢入力)

- 単方向 : キャリッジが右から左へ移動するときに作図します。画質は、双方向よりきれいになります。
- 双方向 : キャリッジが左右に移動するときに作図します。速度重視のため、単方向より画質は落ちます。
- 標準 : 標準のスキャン速度で作図します。画質は、高速より良くなります。
- 高速 : スキャン速度が標準の2倍となります。速度重視のため、標準より多少画質は落ちます。
- 8pass : 1回のスキャンで作図できる幅を8分割して作図します。2passおよび4passより高品質の画質を得ることができます。ただし、作図時間はかかります。
- 4pass : 1回のスキャンで作図できる幅を4分割して作図します。作図時間と画質は、2pass と8passの中間です。
- 2pass : 1回のスキャンで作図できる幅を2分割して作図します。作図時間は短くなります。ただし、画質は粗くなるためドラフト原稿に適しています。

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を 1 回押します。

セッテイ <ENT>

- ③ **△** または **▽** で、[セッテイ] を表示します。

- ④ **ENTER** を押します。

セッテイ : 1-ザ-1

- ⑤ **△** または **▽** で、設定したいユーザー番号を表示します。

セッテイ : 1-ザ-4

サズ`ホウシキ <ent>

- ⑥ **ENTER** を押します。

設定機能に入ります。[サズ`ホウシキ]を表示します。

- ⑦ もう一度、**ENTER** を押します。

ホウコウ :ソウホウコウ

- ⑧ または で、作図方式を選択します。

ホウコウ :タンホウコウ

- ⑨ **ENTER** を押します。

スピ`ード :コウソク

- ⑩ または で、作図速度を選択します。

スピ`ード :ヒョウジ`ユン



★作図速度で高速を選択すると、分割方式は固定となります。他の分割方式は選択できません。

- ⑪ **ENTER** を押します。

ブ`ンカツ :8pass

- ⑫ または で、分割方式を選択します。

ブ`ンカツ :4pass

サズ`ホウシキ <ent>

- ⑬ **ENTER** を押して登録します。

値をキャンセルしたい場合は、**END** を押します。手順⑥の表示に戻ります。

END を数回押して、ローカルモードに移ります。

用紙の送り量を補正[オクリ 枚イ]

本装置は、メディアを送り出しながら作図します。よって、メディアの種類によりメディアの送り出し量が変わってきます。メディアの送り出し量を一定に保つために、送り出し量を補正します。補正値が大きすぎると、白いスジが発生します。作図しながら、適切な値に設定してください。

ユーザー 1 からユーザー 4 に設定できます。

■パラメータ(数値入力)

長さ500mmに対して、-10mm～+10mm(0.1mmステップ)

- | | |
|---------------|--|
| << ローカル >> | ① ローカルモードを表示します。
リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。 |
| テストサクス <ENT> | ② FUNCTION を 1 回押します。 |
| セッテイ <ENT> | ③ △ または ▽ で、[セッテイ] を表示
します。 |
| | ④ ENTER を押します。 |
| セッテイ : ユーザ -1 | ⑤ △ または ▽ で、設定したい
ユーザー番号を選択します。 |
| セッテイ : ユーザ -2 | |
| サクス 枚イ <ent> | ⑥ ENTER を押します。
設定機能に入ります。 |
| オクリ 枚イ <ent> | ⑦ △ または ▽ で、[オクリ 枚イ] を
表示します。 |
| | ⑧ ENTER を押します。 |

柵い 500mm:+0.0mm

柵い 500mm:+0.5mm

くり 柵い <ent>

⑨ または で、補正量を選択します。

⑩ を押して登録します。
値をキャンセルしたい場合は、
 を押します。手順⑦の表示に戻ります。

を数回押して、ローカルモードに移ります。

360dpi拡張モード [360dpi カチヨウ]

メディアによって360dpiの作図データでは濃度が不足する場合があります。

本機能をONすることにより、濃度を上げることができます。

本機能は、360dpiの作図データをプリンタ内部で720dpiに拡張して作図します。

作図方向、作図速度、そして分割方式の設定値は、操作パネルでの設定またはホストコンピュータからの指定が有効になります。

ユーザー1～ユーザー4に設定できます。

■ パラメータ (選択肢入力)

OFF : コマンドで指定された解像度で作図します。

ON : 360dpiの作図データを720dpiに拡張して作図します。

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードの時は、
REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を1回押します。

セッテイ <ENT>

- ③ または で、[セッテイ]を表示します。

セッテイ : ユーザー-1

- ④ **ENTER** を押します。

セッテイ : ユーザー-4

- ⑤ または で、設定したいユーザー番号を表示します。

サクス 辞書 <ent>

- ⑥ **ENTER** を押します。

設定機能に入ります。

360dpiカチヨウ <ent>

- ⑦ または で、[360dpiカチヨウ]を表示します。

360 → 720dpi :OFF

⑧ **ENTER** を押します。

360 → 720dpi :ON

⑨ または で、[ON]にします。

360dpiカチヨウ <ent>

⑩ **ENTER** を押します。

値をキャンセルしたい場合は、
END を押します。手順⑦の表示
に戻ります。

<< ローカル >>

⑪ **END** を数回押して、ローカルモードに移ります。

2

インク乾燥時間の設定[カンツウガカ]

インクの乾燥時間を設定します。

設定時間は、図面の印字密度およびメディアの種類に応じて設定してください。

ユーザー 1 からユーザー 4 まで設定ができます。

設定項目は、次の 2 項目です。

スキャン : スキャン毎の乾燥時間を設定します。

ファイルエンド : 1 ファイル作図終了後の乾燥時間を設定します。

■パラメータ(数値入力)

スキャン : 0~9.9(sec) 0.1秒単位

ファイルエンド : 0~999(sec) 1秒単位

<< ローカル >>

① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

② **FUNCTION** を 1 回押します。

セッテイ <ENT>

③ **△** または **▽** で、[セッテイ] を表示します。

④ **ENTER** を押します。

セッテイ : ユーザ -1

⑤ **△** または **▽** で、設定したいユーザー番号を選択します。

セッテイ : ユーザ -4

サクス 終了 <ent>

⑥ **ENTER** を押します。

設定機能に入ります。

かんソウジかん <ent>

- ⑦ または で、[かんソウジかん]を表示します。

- ⑧ を押します。

スキャン : 0.0s

- ⑨ または で、1スキャンごとの乾燥時間を選択します。

スキャン : 1.0s

- ⑩ を押します。

ファイルエンド : 0s

- ⑪ または で、1ファイル作図終了後の乾燥時間を設定します。

ファイルエンド : 60s

かんソウジかん <ent>

- ⑫ を押して登録します。

値をキャンセルしたい場合は、 を押します。手順⑦の表示に戻ります。

を数回押して、ローカルモードに移ります。

インクカートリッジの交換

ローカルモードでインク残量が少なくなった場合

各インクカートリッジ内のインクが残り少なくなると、インクカートリッジの番号をディスプレイに表示します。この場合、

(REMOTE/LOCAL) キーを押すと1ファイルごと作図できますが、早めにインクカートリッジを交換してください。

! インクニアント



交互に表示します

[1234567]

インクが全く無くなると、次のように表示します。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

! インクイント



交互に表示します

[1234567]

作図中にインク残量が少なくなった場合

作図中に各インクカートリッジ内のインクが残り少なくなると、メッセージをディスプレイに表示します。この場合、**REMOTE/LOCAL** キーを押すと1ファイルごと作図できますが、早めにインクカートリッジを交換してください。

**** リモート ** [インク]**

インクが全く無くなると、次のように表示し、作図が一時停止します。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

! インクエンド



交互に表示します

[1234567]

- **!** 作図品質および長期にわたる信頼性を得るには、純正のインクカートリッジを使用してください。純正以外のインクカートリッジまたはインクを使用しトラブルが発生した場合、責任を負いかねますのでご了承ください。

インクカートリッジの交換方法



- ★ インクステーションの奥へ指を入れしないでください。インクカートリッジに刺さる針でケガする原因になります。

- ① インクが少なくなる、またはインクが無くなると、対象となるカラー番号と共にメッセージを表示します。

ローカルモードでインク残量が少なくなったとき

! インクニアイト



交互に表示します

[1234567]

ローカルモードでインクが無くなったとき

! インクイント



交互に表示します

[1234567]

リモートモードでインク残量が少なくなったとき

** リモート ** [インク]

リモートモードでインクが無くなったとき

! インクイント



交互に表示します

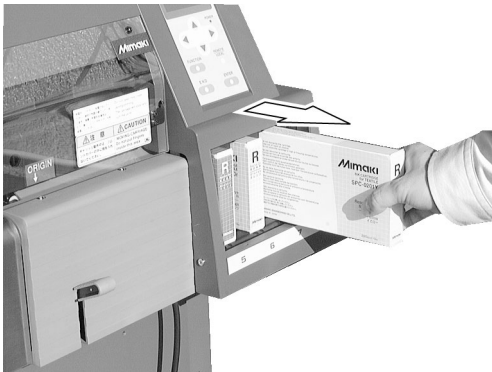
[1234567]

- ② リモートモードのときは、**REMOTE/LOCAL** を押してローカルモードにします。

** リモート ** [インク]



!インクエラー



- ③ 古いインクカートリッジを引き抜きます。

インクカートリッジを抜くと、次のようなメッセージを表示します。

! カートリッジ



交互に表示します

[1234567]

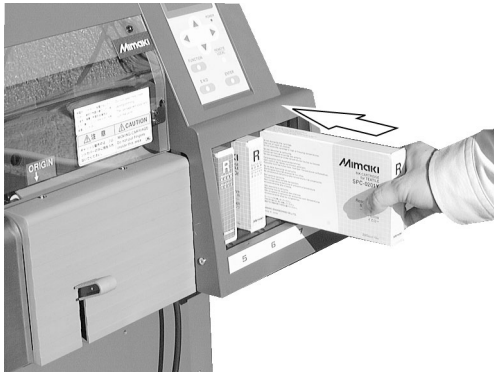


★インクカートリッジは分解しないでください。



警告

★インクには毒性はありませんが、インクに直接ふれないようにしてください。誤ってインクを付けてしまったときは、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の水で洗い、医師に相談してください。



- ④ 新しいインクカートリッジをインクステーションに差し込みます。

インクカートリッジ底の2個の突起をインクステーションのレールに合わせて差し込みます。インクカートリッジを正規の位置まで差し込むとブザーが鳴ります。

各インクカートリッジは、該当するインクステーションに差し込んでください。

<< ローカル >>

- ⑤ 表示が変わります。





作図中の場合は、**REMOTE/LOCAL** キーを押します。作図を開始します。

違う種類のインクに入れ替える場合

特色インクを違う色の特色インクに入れ替える場合に、以下の手順が必要になります。

- 1) インクカートリッジを外して、使用中のインクを排出する。
- 2) 入れ替えるインクのカートリッジを取り付ける。
- 3) 取り付けたカートリッジからインクを充てんする。

インクを排出する[インクハイユツ]

- | | |
|---------------|---|
| << ローカル >> | ① ローカルモードを表示します。
リモートモードの時は、
 を押します。 |
| テストサクス <ENT> | ②  を1回押します。 |
| メンテナンス <ENT> | ③ <input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、[メンテナンス]を表示します。 |
| リスト <ent> | ④  を押します。 |
| インクハイユツ <ent> | ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、[インクハイユツ]を表示します。 |
| ハイユツ :カラー-1 | ⑥ カラー1が選択されていることを確認してから  を押します。 |

2

**** インクハイシユツ ****



<< ローカル >>

⑦ 再度、**ENTER**を押します。

インク排出終了後、ローカルモードに戻ります。

インクを充てんする[インクジ ャテン]

インクを排出した後、インクステーションにインクカートリッジを差し込むと、自動的にインク充填を行います。よって、通常この機能は使用しません。

ヘッドの保護

本装置には、ヘッドを良好な状態に保ち、最良の作図品質を得るために、キャッピング機能とクリーニング機能があります。

キャッピング

キャッピングとは、ヘッドの乾燥を防ぐために自動でヘッドにキャップをする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 作図終了後、数秒間経過したとき
- 一時停止状態になったとき

ヘッドがキャッピングステーションにあれば、キャッピングしています。



★ 作図中や作図終了直後に電源スイッチをオフにすると、キャッピングされないことがあります。キャッピングされていない状態で長時間放置すると作図不良の原因になりますので、ヘッドがキャッピングされていることを確認してから電源スイッチをオフにしてください。もし、キャッピングされていないまま電源スイッチをオフにしてしまった場合は、再度電源スイッチをオンにしてください。しばらくすると自動的にキャッピングおよびクリーニングが行われますので、それを確認したあとに電源スイッチをオフにしてください。

★ 作図中にフロントカバーを開くとキャッピングされない状態でヘッドが停止します。この状態で長時間放置しないでください。

お手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。



★ 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。



★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。



★ お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。



★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。



★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタメカニズムが故障する恐れがあります。

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、水または水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってから拭き取ってください。

3章 応用機能

3章では、便利な機能について説明します。

本書の内容

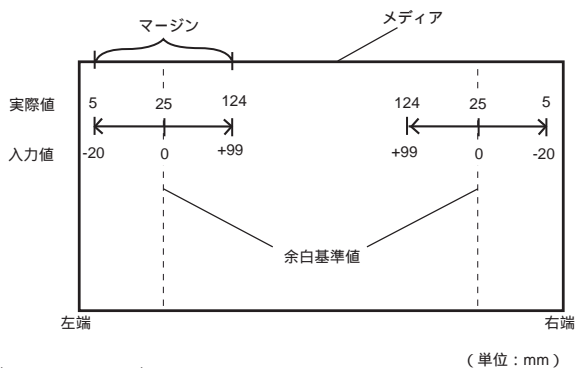
左右端の余白を変更する[マージン]	3-2
重ね塗りの設定[カサネリ]	3-4
ディスプレイの表示単位の設定[ミリ/インチ]	3-6
同一データの再作図[コピー]	3-8
設定値の優先順位の設定[ユセシ ョンイ]	3-10
メディアの吸着力の設定[キウチャク]	3-12
設定値の初期化[セッテイリセット]	3-14
ディスプレイの表示言語の設定[DISPLAY]	3-16

左右端の余白を変更する[マージン]

本装置のメディア左右端の余白(マージン)は通常25mmとなっています。25mmを基準値とし、この値から余白値を増やしたり減らしたりできます。

-20mmに設定すると、余白は5mmになります。(最小値)

また、+99mmに設定すると、余白は124mmになります。(最大値)
各ユーザーごとに設定が可能です。



■パラメータ(選択肢入力)

-20~+99mm mm単位

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードの時は、

REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を1回押します。

セッテイ <ENT>

- ③ または で、[セッテイ]を表示します。

セッテイ : ユーザ -1

- ④ **ENTER** を押します。

セッテイ : ユーザ -4

- ⑤ または で、設定したいユーザー番号を選択します。

- | | |
|------------------|---|
| マージン 補正 <ent > | ⑥ ENTER を押します。 |
| マージン <ent > | ⑦ ▽ または △ で、[マージン] を表示します。 |
| ミギマージン :0 mm | ⑧ ENTER を押します。 |
| ミギマージン : -20 mm | ⑨ ▽ または △ で、メディア右端の余白分を設定します。 |
| ヒタリマージン : 0 mm | ⑩ ENTER を押し、メディア右端の余白分を登録します。
値をキャンセルしたい場合は、
END を押します。手順⑦の表示に戻ります。 |
| ヒタリマージン : -20 mm | ⑪ ▽ または △ で、メディア左端の余白分を設定します。 |
| マージン <ent > | ⑫ ENTER を押し、メディア左端の余白分を登録します。
値をキャンセルしたい場合は、
END を押します。手順⑦の表示に戻ります。 |
| << ローカル >> | ⑬ END を数回押して、ローカルモードに移ります。 |

重ね塗りの設定[カネリ]

インクが発色しにくいメディアに作図する場合、インクの重ね塗りを実行します。
各ユーザーごとに設定が可能です。

■パラメータ(数値入力)

1、2、3、4、5、6、7、8、9(回)

- | | |
|-----------------|--|
| << ローカル >> | ① ローカルモードを表示します。
リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。 |
| テストサクス <ENT> | ② FUNCTION を 1 回押します。 |
| セッテイ <ENT> | ③ △ または ▽ で、[セッテイ] を表示します。 |
| | ④ ENTER を押します。 |
| セッテイ : ユーザ -1 | ⑤ ▽ または △ で、設定したいユーザー番号を選択します。 |
| セッテイ : ユーザ -4 | |
| サクス ホウシキ <ent > | ⑥ ENTER を押します。
設定機能に入ります。 |
| カネリ <ent > | ⑦ △ または ▽ で、[カネリ] を表示します。 |
| | ⑧ ENTER を押します。 |
| | ⑨ △ または ▽ で、重ね塗り回数を選択します。 |

かネリ :1か1

かネリ :3か1

⑩ **ENTER** を押して登録します。
値をキャンセルしたい場合は、
END を押します。手順⑦の表示に戻ります。

END を数回押して、ローカルモードに移ります。

ディスプレイの表示単位の設定[ミリ/インチ]

ディスプレイに表示する長さの単位を設定します。
原点を設定するとき、メディア検出をしたときなどのX方向、Y方向の長さ等が対象です。
各ユーザーごとに設定が可能です。

■パラメータ(選択肢入力)

ミリ : ミリメートルで表示

インチ : インチで表示

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCALを押します。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION**を1回押します。

セッテイ <ENT>

- ③ **△**または**▽**で、[セッテイ]を表示します。

- ④ **ENTER**を押します。

セッテイ : ユーザー1

- ⑤ **▽**または**△**で、設定したいユーザー番号を選択します。

セッテイ : ユーザー4

サクス ホウシキ <ent>

- ⑥ **ENTER**を押します。
設定機能に入ります。

ミリ/インチ <ent>

- ⑦ **△**または**▽**で、[ミリ/インチ]を表示します。

- ⑧ **ENTER**を押します。

ミリ/インチ :ミリ

ミリ/インチ :インチ

⑨ または で、表示単位を選択します。

⑩ を押します。
値をキャンセルしたい場合は、
 を押します。手順⑦の表示に戻ります。

同一データの再作図[北°-]



★ 本機能は、別売の増設メモリを装着しないと機能しません。増設メモリについては、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

最後に受信したデータをローカルモードで再度、作図することができます。これにより、同じデータを何度もコンピュータから送信する必要がなくなります。



★ 本装置の電源をオンにしてから、一度もデータを受信していない場合は、本機能は使用できません。

★ 受信バッファ(増設したメモリ)の容量より大きなデータは、コピーはできません。

■パラメータ(数値入力)

1~999(枚)

① リモートモードで、コピーしたいデータを作図します。

<<ローカル>>

② **REMOTE/LOCAL** を押して、ローカルモードにします。

③ コピーしたい位置に原点を設定します。(⇒P.2-18)

テストサクス <ENT>

④ **FUNCTION** を1回押します。

北°- <ENT>

⑤ **△** または **▽** で、[北°-]を表示します。

北°- : 171

⑥ **ENTER** を押します。

北° - : 371

- ⑦ または で、コピー枚数を設定します。

* 1/3 北° - *

- ⑧ を押します。

コピーを実行しながら、コピー枚数を表示します。

コピー終了後、リモートモードになります。

コピーしない場合は、 を押します。手順⑤の表示に戻ります。

設定値の優先順位の設定[ユセ ン ジ ョ ン]









次の4つの機能の設定値を個々に操作パネルで設定した値を優先にするか、コンピュータ側で設定した値を優先にするか設定します。各ユーザー毎に設定が可能です。

- ・ 作図方式(⇒P.2-20)
- ・ 送り補正(⇒P.2-22)
- ・ 重ね塗り(⇒P.3-4)
- ・ 乾燥時間(⇒P.2-24)

■パラメータ(選択肢入力)

ホスト : コンピュータ側で設定した値が有効になります([HOST]または[PLOT])。コンピュータ側で設定しない場合は、操作パネルで設定した値が有効になります。

パネル : 操作パネルで設定した値が有効になります。

- ① ローカルモードを表示します。
リモートモードのときは、を押します。
- ② を1回押します。
- ③ またはで、[セッテイ]を表示します。
- ④ を押します。
- ⑤ またはで、設定したいユーザー番号を選択します。
- ⑥ を押します。
設定機能に入ります。

<< ローカル >>

テストサクス <ENT>

セッテイ <ENT>

セッテイ :ユーザー-1

セッテイ :ユーザー-4

サクス ホウシキ <ent>

- | | |
|-----------------|--|
| コウケン ジュンイ <ent> | ⑦ <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、[コウケン ジュンイ] を表示します。 |
| サクス 補正 :ホスト | ⑧ <input type="button" value="ENTER"/> を押します。
<input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、作図方式の優先先を選択します。 |
| オクリ ホイ :ホスト | ⑨ <input type="button" value="ENTER"/> を押します。
<input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、送り補正の優先先を選択します。 |
| カサヌリ :ホスト | ⑩ <input type="button" value="ENTER"/> を押します。
<input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、重ね塗りの優先先を選択します。 |
| カンソウジカン :ホスト | ⑪ <input type="button" value="ENTER"/> を押します。
<input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> で、乾燥時間の優先先を選択します。 |
| << ローカル >> | ⑫ <input type="button" value="ENTER"/> を押します。
値を登録します。
<input type="button" value="END"/> を数回押して、ローカルモードに移ります。 |

メディアの吸着力の設定[キウチャク]

メディアの吸着力を設定します。
各ユーザーごとに設定が可能です。

■パラメータ(選択肢入力)

ヒョウジュン : 通常の吸着力でメディアを吸着します。

ヨワイ : メディアの吸着力を弱めます。

OFF : ほとんど吸着しないレベルまで吸着力を弱めます。

吸着力を[ヨワイ]または[OFF]に設定した場合、作図時のみ設定が有効になります。メディアサイズ検出時および原点設定時は、[ヒョウジュン]になります。

<< ローカル >>

① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

② **FUNCTION** を 1 回押します。

セッテイ <ENT>

③ **△** または **▽** で、[セッテイ]を表示します。

セッテイ : ユーザー-1

④ **ENTER** を押します。

セッテイ : ユーザー-4

⑤ **▽** または **△** で、設定したいユーザー番号を選択します。

サクス 動作 <ent>

⑥ **ENTER** を押します。

設定機能に入ります。

キウチャク <ent>

⑦ **△** または **▽** で、[キウチャク]を表示します。

キウチャク : ヒョウジュン

⑧ **ENTER** を押します。

設定値の変更が可能になります。

キュチャク :ヨ71

- ⑨ または で、吸着力を選択します。

<< ローカル >>

- ⑩ を押します。
値を登録します。
 を数回押して、ローカルモードに移ります。

設定値の初期化[セッテイ リセット]

各設定項目を一括して、初期値に戻します。初期化を行うと、各設定項目は以下の値となります。

- ・ 作図方式 : 単方向、標準
(作図方向、作図速度、
分割方式)
- ・ メディア送り補正 : 補正なし(0mm)
- ・ 重ね塗り回数 : 重ね塗りなし
- ・ 乾燥時間 : スキャン毎、1 ファイル終了時、
(スキャン毎、
1ファイル終了時) 共に乾燥時間なし(0秒)
- ・ 優先順位 : ホスト
- ・ 右マージン変更値 : +0mm
- ・ リフレッシュレベル設定 : レベル1
- ・ メディア検出方法 : ハバ
- ・ 巻き取り動作 : 連続
- ・ 吸着ファン強弱 : 弱い
- ・ 表示単位の選択 : ミリ

ユーザー 1 からユーザー 4 に設定できます。

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードの時は、

REMOTE/LOCAL を押します。

テストサクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を1回押します。

セッテイ <ENT>

- ③ または で、[セッテイ]を表示
します。

- ④ **ENTER** を押します。

セッテイ :ユーザー1

- ⑤ または で、初期化したい
ユーザー番号を表示します。

セッテイ :ユーザー4

- ⑥ **サクス ホウシキ <ent>** **ENTER**を押します。
- ⑦ **セッテイ リセット <ent>** **▽**または**△**で、[セッテイ リセット]を表示します。
- ⑧ **ユーザー4 リセット: ent** 初期化を実行するユーザー番号を表示します。
- 初期化を実行する場合は、**ENTER**を押します。
各設定項目が初期値となります。
初期化を実行しない場合は、**END**を押します。手順⑦の表示に戻ります。
- ⑨ **<< ロ-カル >>** **END**を数回押して、ローカルモードに移ります。

ディスプレイの表示言語の設定[DISPLAY]

ディスプレイに表示する言語を設定します。

■パラメータ(選択肢入力)

Japanese、English、German、French、Spanish、Italian、
Portuguese

<< ローカル >>

① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。

テストサグ <ENT>

② **FUNCTION** を 1 回押します。

DISPLAY <ENT>

③ **△** または **▽** で、[DISPLAY]
を表示します。

ヒョウジ :Japanese

④ **ENTER** を押します。

ヒョウジ :English

⑤ **△** または **▽** で、表示言語を選
択します。

⑥ **ENTER** を押して登録します。
手順③の表示に戻ります。

値をキャンセルしたい場合は、
END を押します。

4章

メンテナンス機能

4章では、画質が悪化した場合の対処や確認するための機能および廃インクタンクの交換方法について説明します。

本書の内容

各色のヘッドのズレ補正[ドットイ対イ]	4-2
ヘッドのリフレッシュレベルの設定[リフレッシュ]	4-6
ヘッドのクリーニング[クリーニング]	4-8
テスト作図の実行[テストサズ]	4-10
ワイパのクリーニング[ステーションメンテ]	4-12
ワイパ交換とキャップのクリーニング[ステーションメンテ]	4-15
ダンプの実行[ダンプ]	4-20
設定状態の作図[リスト]	4-21
巻き取りセンサーの位置確認[マトリセンサー]	4-22
廃インクタンクの交換方法	4-23

4

各色のヘッドのズレ補正[ドット 仔 衤イ]



注意

- ★ 工場出荷時は、機械ごとに微調整しています。作図結果の各色がずれて、輪郭部に単色の輪郭線が作図されてしまう等の現象が発生する場合のみ、本調整を行ってください。
- ★ カラー1のインクカートリッジをセットしていない場合は、カラー1を使ったパターンは作図しません。

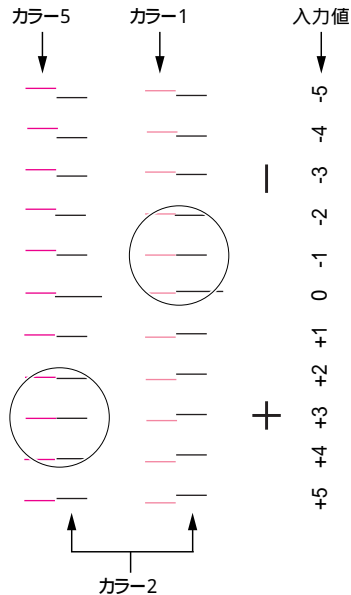
各色のヘッドのズレをX方向(水平方向)とY方向(垂直方向)の両方で補正します。

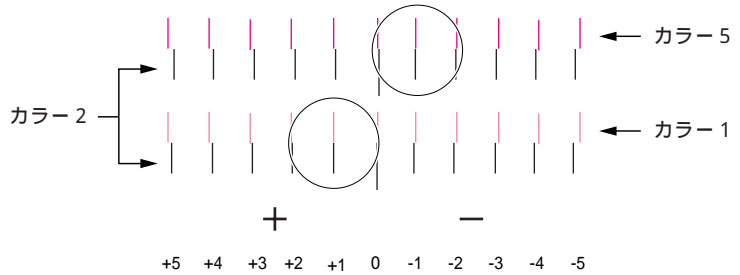
X方向のパターン、Y方向の往路そして復路のパターンでは、各ヘッド間のズレを調べるためにカラー2を基準にカラー1とカラー5で作図します。

各基準色のパターンが、X方向では水平に、Y方向では垂直に揃うパターンを-5から+5の間で選び、その値を入力します。

X方向のパターン

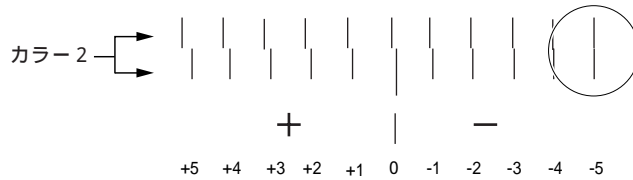
Y方向の往路・復路パターン





Y方向パターンの往復ではカラー2で往復作図し、垂直に揃うパターンを-5から+5の間で選び、その値を入力します。

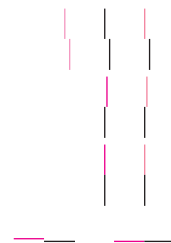
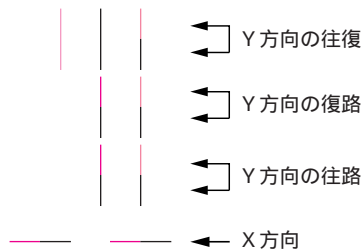
Y方向の往復パターン



本機能のテスト作図は、ヘッドのズレを確認するため、各色のヘッドでチェックパターンを作図します。

正常なパターン

ズれているパターン



<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、**REMOTE/LOCAL**を押します。

テスト サズ <ENT>

- ② **FUNCTION**を1回押します。

メンテナンス <ENT>

- ③ **△**または**▽**で、[メンテナンス]を表示します。

リスト <ent>

- ④ **ENTER**を押します。

ドット 仔 衤イ <ent>

- ⑤ **△**または**▽**で、[ドット 仔 衤イ]を表示します。

衤イ: X 衤コウ

- ⑥ **ENTER**を押します。

衤イ: Y フコ

- ⑦ **△**または**▽**で、補正方向を選択します。

左の図は、[Y フコ]を選択した場合です。

カラー 1-2 =No.0

- ⑧ **ENTER**を押します。

パターン図を作図します。



- **▶**を押すと、作図せずにパターン番号を入力できます。

カラー1のインクカートリッジをセットしていない場合は、手順⑩に移ります。

- ⑨ カラー1-2間の垂直方向に揃ったパターン番号をさがします。

カラ- 1-2 =No.-2

- ⑩ または で、パターン番号を入力します。

カラ- 2-5 =No.0

- ⑪ を押します。
同様に、カラー2-5間のパターン番号を入力します。

ホセイ:テスト サクス

- ⑫ または で、[ホセイ:テスト サクス] を選択します。

入力した補正值が正しいか、テスト作図をして確認します。

- ⑬ テスト作図が異常の場合は、手順⑥から行ってください。

ホセイ:テスト サクス



<< ローカル >>

- ⑭ テスト作図が正常な場合は、 を数回押してローカルモードに戻ります。

ヘッドのリフレッシュレベルの設定[リフレッシュ]

ホコリが多い場所や、湿度が低い場所で本装置を使用すると、ヘッドノズルのインクが固まりやすくなります。

作図中、ヘッドをリフレッシュさせることにより、インクの固まりを防止します。

このときのヘッドを自動でリフレッシュさせるためのレベルを設定します。

■パラメータ(数値入力)

レベル0 : リフレッシュの回数が少ない

レベル1 : リフレッシュの回数が普通

レベル2 : リフレッシュの回数がやや多い

レベル3 : リフレッシュの回数が多い

リフレッシュレベルは、ユーザー1からユーザー4の各ユーザー毎に設定が可能です。



★ 長尺出力および連続出力を行う場合は、作図を安定させるためにリフレッシュレベルをレベル3に設定してください。ただしインクの消費量が増えます。また、作図時間が多少長くなります。

<< ローカル >>

① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、**REMOTE/LOCAL**を押します。

テスト サクズ <ENT>

② **FUNCTION**を1回押します。

セッテイ <ENT>

③ **△**または**▽**で、[セッテイ]を表示します。

セッテイ :1-ザ-1

④ **ENTER**を押します。
ユーザー番号を選択します。

セッテイ :1-ザ-2

⑤ **△**または**▽**で、設定したいユーザー番号を選択します。

- ⑥ を押します。
- ⑦ またはで、[リフレッシュ]を表示します。
- ⑧ を押します。
リフレッシュレベルを表示します。
- ⑨ またはで、リフレッシュレベルを選択します。
- ⑩ を押して登録します。
値をキャンセルしたい場合は、
を押します。手順⑦の表示に戻ります。
を数回押して、ローカルモードに移ります。

ヘッドのクリーニング[クリーニング]

ヘッドクリーニングは、作図がかすれたり、欠けたりする画質不良が出た場合に行います。以下の手順に従ってヘッドクリーニングを行ってください。

また、ヘッドクリーニングを実行したら、テスト作図機能を実行して、かすれや欠けが無いか確認してください。

クリーニング機能を数回実行しても改善しない場合は、弊社までご連絡ください。

■パラメータ(選択肢入力)

対象ヘッド

スベテ	:	全てのカラーを対象にクリーニング
カラー1	:	カラー1のヘッドをクリーニング
ヘッド2、3、4	:	カラー2、3、4のヘッドをクリーニング
ヘッド5、6、7	:	カラー5、6、7のヘッドをクリーニング

クリーニングタイプ

ソフト	:	作図がかすれた時に使用します。(クリーニング時間が短い)
ノーマル	:	作図欠けがある時に使用します。(クリーニング時間が長く、インク消費量が多い)

<< ローカル >>

- ① ローカルモードにします。

リモートモードのときは、**REMOTE/LOCAL**を押して、ローカルモードにしてください。

テスト サクス <ENT>

- ② **FUNCTION**を1回押します。

クリーニング <ENT>

- ③ **△**または**▽**で、[クリーニング]を表示します。

クリーニング :スベテ

- ④ **ENTER**を1回押します。

- ⑤ **クリーニング :カラ-234** または で、クリーニングするヘッド番号を選択します。
- ⑥ **クリーニング :ソフト** **ENTER** を押します。
クリーニングタイプの設定画面に変わります。
- ⑦ **クリーニング :ノーマル** または で、クリーニングタイプを選択します。
- ⑧ **** クリーニング ****
↓
<< ローカル >> **ENTER** で、クリーニングを実行します。
クリーニングを取り消したい場合は、**END** を押します。手順①の表示に戻ります。
クリーニング終了後、ローカルモードに戻ります。

テスト作図の実行[テスト サズ]

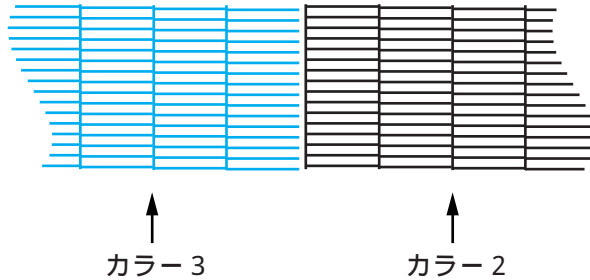
作図する前またはクリーニング機能を実行した後、作図のかすれや欠けが無いかなテストパターンを作図して確認します。

画質に異常がある場合は、クリーニング機能を実行してください。⇒ P.4-8

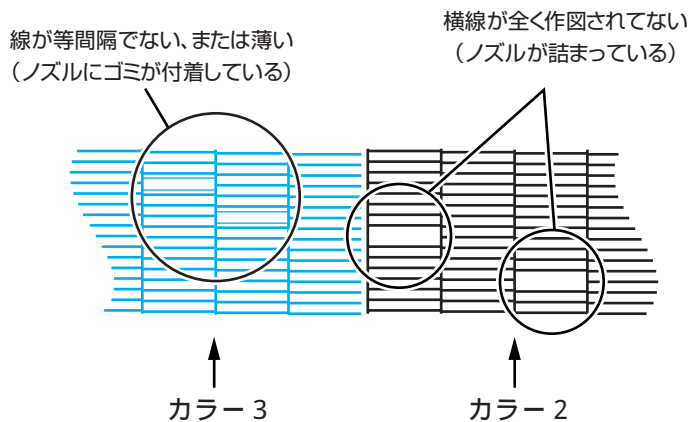
クリーニング機能を数回実行しても改善しない場合は、弊社までご連絡ください。

リーフメディアにテスト作図する場合は、A4サイズの横置き以上のサイズのメディアを使用してください。

正常なパターン



異常なパターン



- 横線1本が、1ノズルに対応しています。
1色で2本の横線が抜けている場合は、2ノズルが不調ということになります。

<< ローカル >>

① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、**REMOTE/LOCAL**を押します。

テスト サクス <ENT>

② **FUNCTION**を1回押します。

** テスト サクス **



<< ローカル >>

③ **ENTER**を押します。

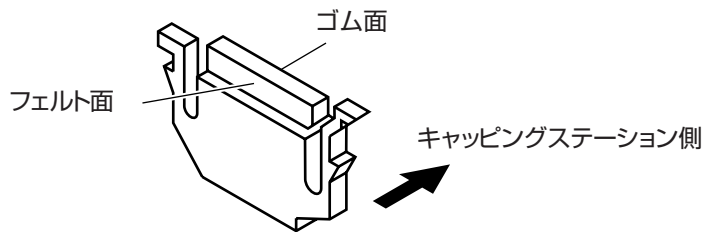
テストパターンを作図します。
作図終了後、ローカルモードになります。

ワイパのクリーニング[ステーションメンテ]

作図を行っているとき、ヘッドをクリーニングするワイパがインクとゴミで汚れてきます。この場合、綿棒を使って、インクとゴミを除去します。



- ★ ワイパは、左側面がフェルトで、右側面がゴムになっています。フェルト面は、綿棒でこすらないで押し当てるようにしてゴミを取り除いてください。フェルト面をこすると、毛羽だってノズル詰まりの原因になります。ゴム面は、綿棒でインクを拭き取ってください。



<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、**REMOTE/LOCAL**を押します。

テスト サクズ <ENT>

- ② **FUNCTION**を1回押します。

メンテナンス <ENT>

- ③ **△**または**▽**で、[メンテナンス]を表示します。

リスト <ent>

- ④ **ENTER**を押します。

ステーションメンテ <ent>

- ⑤ **△**または**▽**で、[ステーションメンテ]を表示します。

メンテ:キャリッジ アウト

- ⑥ **ENTER**を押します。

または で、[メンテ: キャリッジ アウト] を表示します。



注意

★[ワイパ コウカン] を選択して **ENTER** を押さないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。ワイパを交換する以外は選択しないでください。

⑦ **ENTER** を押します。

キャリッジがキャッピングステーションから出てきます。

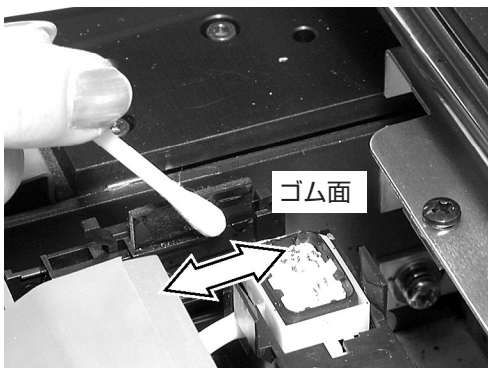
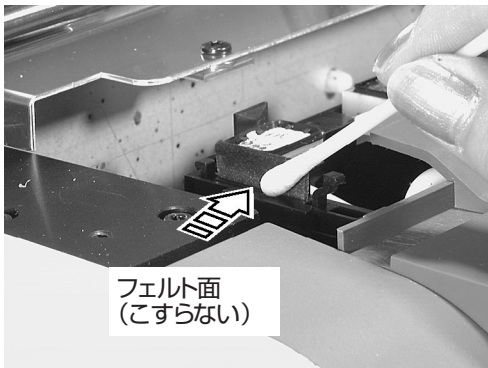
キャリッジは、手で左右に動かすことができます。

⑧ フロントカバーを開けます。

⑨ ワイパを次のようにクリーニングします。


フェルト面は、綿棒で押し当てるようにゴミを取り除いてください。綿棒でこすらないでください。

ゴム面は、綿棒でインクを拭き取ってください。



シユリヨウ

:ent

- ⑩ フロントカバーを閉めた後に、
を押します。

初期動作後、ローカルモードになります。

★このときメディアがセットされている場合は、初期動作後メディア検出を行います。



ワイパ交換とキャップのクリーニング[ステーション メンテ]

作図を行っている時、ヘッドをクリーニングするワイパとキャッピングステーションのキャップが汚れてきます。この場合、次のメッセージを表示します。速やかにワイパの交換とキャップのクリーニングを実行してください。
クリーニングワイパは別売品です。販売店または弊社営業所でお求めください。

ワイパ コウカン



- ★ 新しいワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。
- ★ ワイパ交換は、手を汚さないよう付属の手袋を使用してください。万一、インクが手に付いたら、石けんや水ですぐに洗い流してください。
- ★ 本機能を実行するとキャリッジがキャッピングステーションから出てきます。そのままの状態ですべての時間放置しておくとノズル詰まりの原因になります。ワイパ交換、キャップのクリーニングが終了したら、速やかに **ENTER** を押してキャリッジをキャッピングステーションに戻してください。

ワイパの交換

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。
リモートモードのときは、**REMOTE/LOCAL** を押します。

テスト サクス <ENT>

- ② **FUNCTION** を 1 回押します。

メンテナンス <ENT>

- ③ **△** または **▽** で、[メンテナンス] を表示します。

リスト <ent>

④ ENTER を押します。

ステーションメンテ <ent>

⑤ または で、[ステーションメンテ] を表示します。

メンテ:キャリッジ アウト

⑥ ENTER を押します。

メンテ:ワイパ コウカン

⑦ または で、[メンテ:ワイパ コウカン] を表示します。

⑧ ENTER を押します。

キャリッジがキャッピングステーションから出てきます。

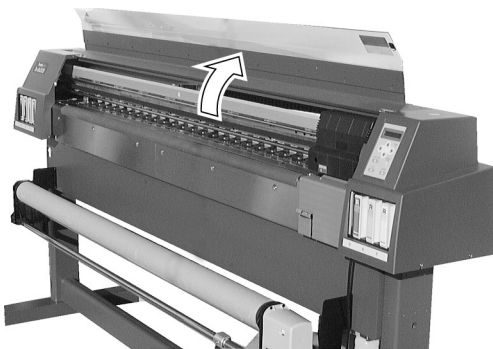
キャリッジは、手で左右に動かすことができます。

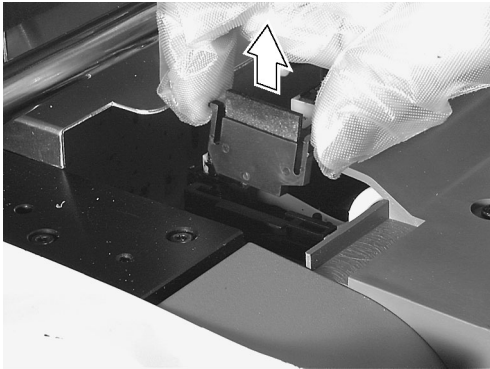


注意

★ワイパを交換する以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。

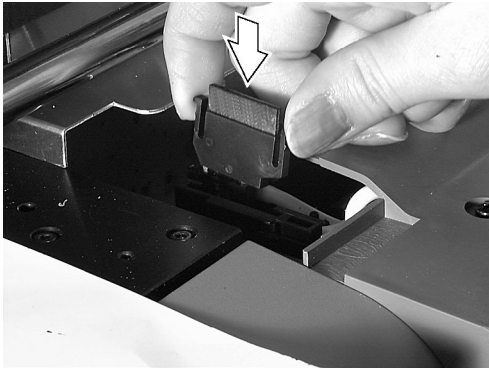
⑨ フロントカバーを開けます。





- ⑩ 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

別売品のクリーニングワイパセットに付属している手袋をすると、手が汚れません。



- ⑪ 両端の突起を持って新しいワイパを差し込みます。



注意

★新しいワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。

★ワイパのフェルト面が左側になるように差し込んでください。

シュリョウ

:ent

- ⑫ フロントカバーを閉めた後に、**ENTER**を押します。

初期動作後、ローカルモードになります。




注意

★このときメディアがセットされている場合は、初期動作後メディア検出を行います。

キャップのクリーニング

<< ローカル >>



- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
を押します。

テスト サクス <ENT>

- ② を1回押します。

メンテナンス <ENT>

- ③ またはで、[メンテナンス]を表示します。


リスト <ent>



- ④ を押します。

ステーションメンテ <ent>

- ⑤ またはで、[ステーションメンテ]を表示します。


メンテ:キャリッジ アウト


- ⑥ を押します。

またはで、[メンテ:キャリッジ アウト]を表示します。

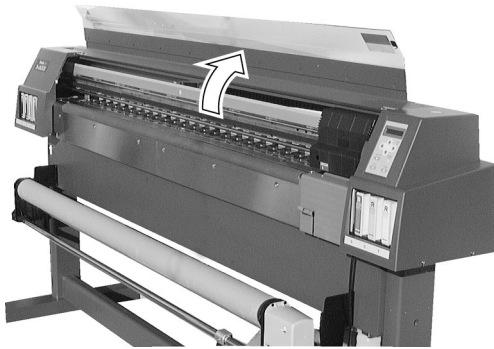


注意

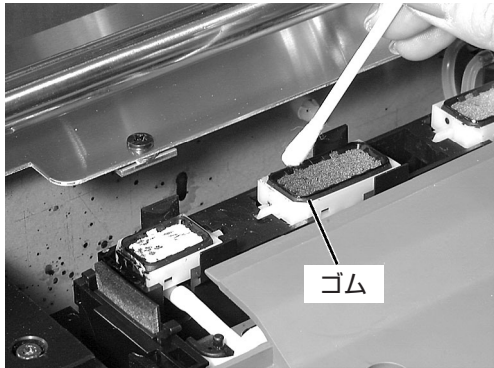
★[ワイバ コウカン]を選択して
を押さないでください。
本装置内部で管理しているワイバ使用
回数がリセットしてしまいます。ワイ
バを交換する以外は選択しないでくだ
さい。

- ⑦ を押します。

キャリッジがキャッピングステーショ
ンから出てきます。
キャリッジは、手で左右に動かすこと
ができます。



⑧ フロントカバーを開けます。



⑨ 綿棒でキャップ周りのゴムの汚れを取り除きます。

シユリヨウ :ent

⑩ フロントカバーを閉めた後に、
ENTER を押します。
初期動作後、ローカルモードになります。

ダンプの実行[ダンプ]

コンピュータから送信されてくるデータコマンドをHEXコードで作図します。これにより、データコマンドに異常がないか確認することができます。

リーフメディアを使用する場合は、A4サイズ以上のメディアを使用してください。



● 出力例を付録Cに示しますので、ご参照ください。

- | | |
|---------------|--|
| << ローカル >> | ① ローカルモードを表示します。
リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。 |
| テスト サクス <ENT> | ② FUNCTION を 1 回押します。 |
| メンテナンス <ENT> | ③ △ または ▽ で、[メンテナンス] を表示します。 |
| リスト <ent> | ④ ENTER を押します。 |
| ダンプ <ENT> | ⑤ △ または ▽ で、[ダンプ] を表示します。 |
| ** ダンプ ** | ⑥ ENTER を押します。
ホストコンピュータからデータを送信してください。 |
| << ローカル >> | ⑦ 作図が終了したら、
REMOTE/LOCAL を押します。
ローカルモードになります。 |
| | ⑧ ダンプ機能を解除するために、
データクリア機能を実行してください。 |

設定状態の作図[リスト]

次の項目について作図します。メンテナンスにお役立てください。

- ・ファンクション機能の中の設定機能の値
- ・ファンクション機能の中のドット位置補正の値
- ・各インクカートリッジの交換回数
- ・本装置で使用しているファームウェアのバージョン
- ・サービスマンに必要な各種設定値を作図します。

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。

テスト サクズ <ENT>

- ② **FUNCTION** を 1 回押します。

メンテナンス <ENT>

- ③ **△** または **▽** で、[メンテナンス] を表示します。

リスト <ent>

- ④ **ENTER** を押します。

** リスト **

- ⑤ **ENTER** を押します。

リストを作図します。
作図が終了すると、ローカルモードになります。

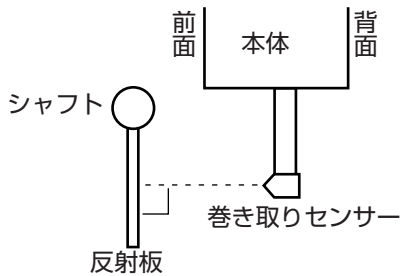
4

メンテナンス機能

巻き取りセンサーの位置確認[マトリ センサ-]

巻き取りセンサーの動作状態を確認します。

本機能を実行し、巻き取りセンサーと反射板の間を手などで遮るとディスプレイに「マトリセンサ-:ON」と表示し、遮らない状態に変化したときブザーが鳴ります。



もし、ブザーが鳴らない場合は、反射板の角度がずれているか、巻き取りセンサーを遮っている物があります。遮っている物が無い場合は、反射板とシャフトが垂直になるように調整し、本機能を再度実行してください。

<< ローカル >>

- ① ローカルモードを表示します。

リモートモードのときは、
REMOTE/LOCAL を押します。

テスト サクズ <ENT>

- ② **FUNCTION** を 1 回押します。

メンテナンス <ENT>

- ③ **△** または **▽** で、[メンテナンス] を表示します。

リスト <ent>

- ④ **ENTER** を押します。

マトリ センサ- <ent>

- ⑤ **△** または **▽** で、[マトリ センサ-] を表示します。

マトリ センサ-:OFF

- ⑥ **ENTER** を押します。

現在のセンサーの状態を表示します。
OFF：センサーを遮っていない
ON：センサーを遮っている

<< ローカル >>

- ⑦ **END** を数回押し、ローカルモードに移ります。

テスト作図後のメディア送りの設定 [ビューセッテイ]

テスト作図、およびドット位置補正後に、作図結果を見やすい位置までフィードする機能のON/OFFを設定します。
薄い布を使用する場合は、ビューフィードの設定をOFFにしてください。グリッドローラの穴に、薄い布が入り込むことを防止します。

■ パラメータ (選択肢入力)

- ON : メディアのフィードを実行します。
OFF : メディアのフィードを実行しません。

<< ローカル >>

テストサクス <ENT>

メンテナンス <ENT>

リスト <ENT>

ビューセッテイ <ENT>

ビュー : ON

ビュー : OFF

ビューセッテイ <ENT>

- ① ローカルモードを表示します。
リモートモードの時は、**REMOTE/LOCAL** を押します。
- ② **FUNCTION** を1回押します。
- ③ または で、[メンテナンス]を表示します。
- ④ **ENTER** を押します。
- ⑤ または で、[ビューセッテイ]を表示します。
- ⑥ **ENTER** を押します。
設定機能に入ります。
- ⑦ または で、[OFF]を選択します。
- ⑧ **ENTER** を押して登録します。
値をキャンセルしたい場合は、**END** を押します。手順⑥の表示に戻ります。
- ⑨ **END** を数回押して、ローカルモードに移ります。

廃インクタンクの交換方法

ヘッドのクリーニングなどで使用したインクは廃インクタンクに溜まります。廃インクの量が廃インクタンクのFULLラインを越えたら、速やかに新しい廃インクタンクに交換してください。



★ 廃インクタンクの中身および廃インクには毒性がありません。廃インクで満杯になった廃インクタンクは、使用している地域の条例に従い処分してください。



① 廃タンクガードのネジを外し、廃タンクガードを開けます。

ネジは、装置裏側にあります。



② 新しい廃インクタンクに交換します。

廃インクが入ったタンクにキャップをはめて、処分してください。

③ 廃タンクガードを閉じ、ネジで固定します。

5章

困ったときは

5章では、本装置になんらかの異常が発生した場合、エラーメッセージを表示した場合のトラブルの解消方法について説明します。

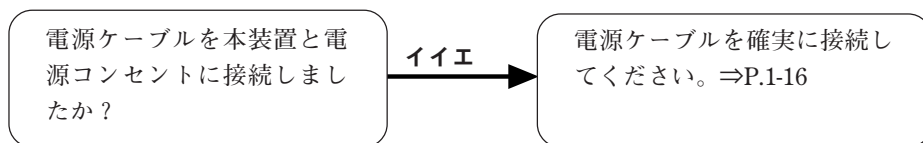
本章の内容

故障?と思う前に	5-2
画質不良がでたとき	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4

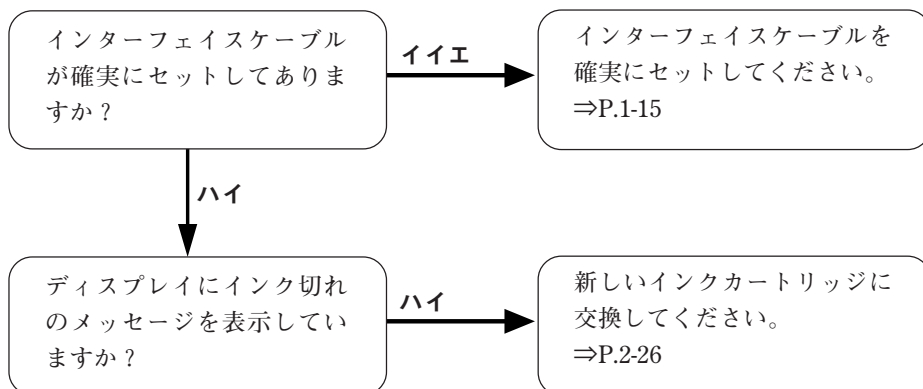
故障?と思う前に

ディスプレイにエラーメッセージが表示されないときのトラブルの対処方法について説明します。故障と思う前に、もう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

電源が入らない



作図できない



画質不良が起きたとき

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。
対処しても、なおらない場合は販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

白いスジ／カスレが気になる(ヘッド移動方向)

対処方法： ヘッドクリーニングを実行してください。
⇒4-8ページ

往復印字でズレが発生する

対処方法： 「ドット位置補正」機能で、「Y往復」の調整をしてください。
⇒4-2ページ




色ごとにインクが重ならない

対処方法： 「ドット位置補正」機能を実行してください。
⇒4-2ページ

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングエラー

ワーニングメッセージ	原因	対処方法
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">!カートリッジ</div>  交互に表示 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">[1234567]</div>	インクカートリッジが、インクステーションに取り付けてありません。	表示している番号のインクカートリッジをインクステーションに取り付けてください。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">!インクニアインド</div>  交互に表示 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">[1234567]</div>	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	REMOTE/LOCAL を押すと、1ファイルごと作図できます。早めに、表示している番号のインクカートリッジを交換してください。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">!インクインド</div>  交互に表示 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">[1234567]</div>	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示している番号のインクカートリッジを交換してください。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">!ワイパ コウカン</div>	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。	REMOTE/LOCAL を押すと、作図ができます。電源を入れる度にエラーを表示しますので、早めの新しいワイパに交換してください。

ワーニングメッセージ	原因	対処方法
<p>オフライン中</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">!マキトリ</div> <p>オンライン中</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">** リモート ** [マキトリ]</div>	<p>巻き取り装置の動作モードが[カンケツ]の時、異常な動作をしました。</p>	<p>以下の点を確認して、必ず巻き取りセンサーの位置確認を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 巻き取り装置のケーブルを接続してください。 ② 巻き取り装置のスイッチをFOWARDまたはREVERSEにしてください。 ③ 巻き取りセンサーと反射板との間に遮る物があれば取り除いてください。

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。
 エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。
 それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

ワーニングメッセージ	原因	対処方法
I5-03 ハット RAM	制御RAMに異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
I5-04 EEPROM	パラメータROMに異常が発生しました。	
I5-05 CPUsci	制御基板に異常が発生しました。	
I5-06 EDO-DRAM	標準のEDO-DRAMに異常が発生しました。	
I5-07 EDO-DRAM.S	増設EDO-DRAMに異常が発生しました。標準のEDO-DRAMのみで動作します。	
I5-08 パワー	モーター関係に異常が発生しました。	
I5-10 コマンド	コマンドデータ以外のデータを受信しました。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。
I5-11 パラメータ	数値範囲外のパラメータを受信しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
I5-20 I/Fボード	インターフェイス基板に異常が発生しました。	

ワーニングメッセージ	原因	対処方法
I17-21 I/Fナシ	インターフェイス基板を装着していません。	インターフェイス基板を装着してください。
I17-22 SIMM SLs r	I/Fボード上のSIMMが認識または初期化できませんでした。 s : スロット番号(0または1) r : 4=認識不可 5=初期化不可 認識されたSIMMのみで動作します。	弊社推奨のSIMMを使用してください。
I17-23 ホストI/F	ホストコンピュータとI/Fボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
I17-30 オペレーション	操作パネルで不当なオペレーションをしました。	正しいオペレーションをしてください。
I17-31 データナシ	データを受信していないのに、コピー機能を実行した。	一度、データを受信してください。
I17-32 データがオキ	受信済みのデータ容量が大きくて、コピー機能が使用できません。	受信バッファ容量より小さいデータを使用してください。
I17-34 データアリ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定機能を変更しようとした。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。

ワーニングメッセージ	原因	対処方法
<p>I17-40 モーターアラーム X</p>	<p>モーターに過大な負荷がかかりました。</p>	<p>一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。</p>
<p>I17-41 モーターアラーム Y</p>	<p>フロントカバーが開いています。</p>	<p>フロントカバーを閉めて、ENTER キーを押してください。</p>
<p>I17-42 Xオーバーカレント</p>	<p>モーターの過電流エラーを検出しました。</p>	<p>一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。</p>
<p>I17-43 Yオーバーカレント</p>	<p>モーターの過電流エラーを検出しました。</p>	
<p>I17-50 ヨウシ ケンシュツ</p>	<p>用紙検出ができませんでした。</p>	<p>セットしたリーフメディアの右端の位置が不適切です。メディアの右端は、プラテンの右端から5mm以上離してセットしてください。</p> <p>正しくセットしても、エラーを表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。</p>
<p>I17-51 Yゲンテン</p>	<p>原点検出ができませんでした。</p>	<p>一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。</p>

付録

付録では、各種仕様や構成品、ファンクションメニュー構造、および出力サンプルなどを示します。

本章の内容

A 基本仕様	付録-2
B ファンクションメニュー構造	付録-5
C 出力サンプル	付録-6

A 基本仕様

本体仕様

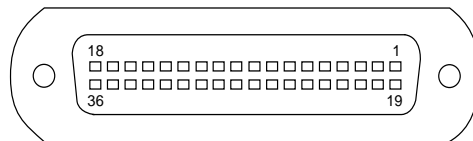
項目		内容
作図ヘッド部	方式	ドロップオンデマンドピエゾヘッド
	分解能	360×360(dpi) 720×720(dpi)
最大作図範囲		幅：1600mm、長さ：50m
距離精度		±0.3mmまたは指定距離の±0.3%の大きい方
作図モード	解像度	360×360(dpi) 720×720(dpi)
	作図速度	単方向、双方向
	作図速度	標準、高速
	パス	360×360 (dpi) : 2パス、4パス、8パス 720×720 (dpi) : 4パス、8パス
	ドット位置	1ドット以内(相対ドット位置誤差)
デッドスペース	ロールメディア	前：20mm±2mm、後：35mm±2mm、左右：25mm±0.5mm
	リーフメディア	前：20mm±2mm、後：0mm±0.5mm、左右：25mm±0.5mm
メディア	種類	専用指定布
	セット方法	クランプレバーによる手動クランプ
	メディアサイズ	最大幅：1650mm
		外形：200mm、最大重量：15kg 紙管内径：2インチおよび3インチ 印字面：外面
サイズ検出	幅：メディア端、長さ：メディア端検出	
インターフェイス		双方向パラレルインターフェイス(IEEE1284準拠)、 ECP対応
コマンド		MRL- I (ESC/PV.2ベース) Rev1.2
電源電圧、電力		AC100 - 240V 50/60Hz、約120VA以下
外形寸法(mm)		2425(W)×580(D)×1160(H)
重量		150kg以下
騒音		作図時連続音59dB

双方向パラレルインターフェイス仕様

■基本仕様

項目	仕様
伝送方式	双方向パラレル (IEEE1284準拠)
信号レベル	TTLレベル
コネクタ	アンフェノール 57-30360相当品

■コネクタ形状と信号表



ピン番号	略称	信号名称	信号の発信元
1	STROBE	データストロープ	コンピュータ
2~9	DATA1~DATA8	データ	コンピュータ
10	ACK	アクノレッジ	本装置
11	BUSY	ビジー	本装置
12	PE	ペーパエンド	本装置
13	SELECT	セレクト	本装置
14	AUTO FEED XT	オートフィードXT	コンピュータ
15	N.C	—	—
16	SG	シグナルグランド	—
17	FG	フレームグランド	—
18	POWER	パワー	本装置
19~30	SG	シグナルグランド	—
31	INPUT PRIME	インプットプライム	コンピュータ
32	DATA ERROR	データエラー	本装置
33	N.C	—	—
34,35	N.C	—	—
36	SELECT IN	セレクトイン	コンピュータ

増設受信メモリ仕様

16MB、32MB、または64MB×2枚
5V、72ピン
32ビット構成
2048回/32msリフレッシュ
アクセスタイム60ns

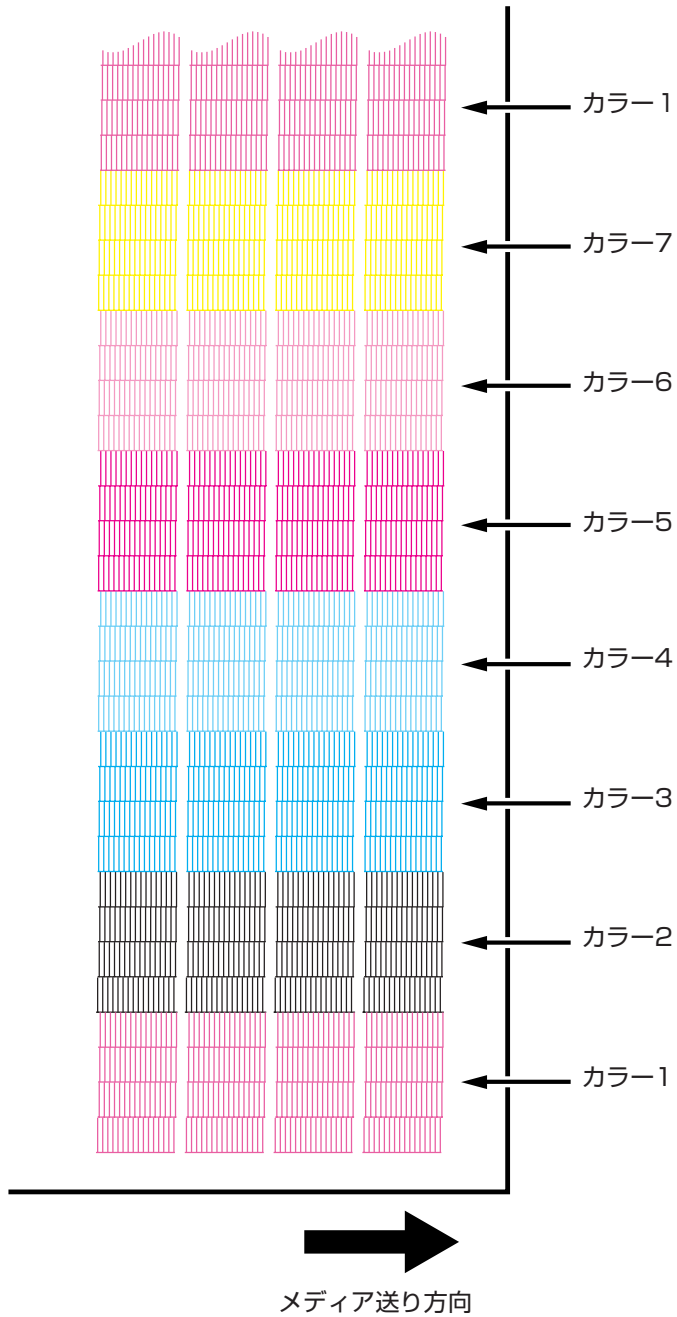
B ファンクションメニュー構造

テストサクス (P.4-10)			
クリーニング (P.4-8)	センタク	スペテ、カラー1、カラー234、カラー567	
	クリーニング	ソフト、ノーマル	
データクリア (P.2-15)			
セッテイ	ユーザー1 1~4 (P.2-20)	作図方式	方向 — 双方向、 <u>単方向</u> 速度 — <u>標準</u> 、高速 分割 — <u>2pass</u> 、 <u>4pass</u> 、8pass
	(P.2-23)	360dpi拡張	OFF,ON
	(P.2-22)	送り補正	-10.0~ <u>0.0</u> ~+10.0mm
	(P.3-4)	重ね塗り	<u>1回</u> ~9回
	(P.2-24)	乾燥時間	スキャン — <u>0</u> ~9.9秒 ファイルエンド — <u>0</u> ~999秒
	(P.3-10)	優先順位	作図方式 — ホスト、パネル 送り補正 — ホスト、パネル 重ね塗り — ホスト、パネル 乾燥時間 — ホスト、パネル
	(P.3-2)	マージン	ミギマージン — -20~ <u>0</u> ~99mm ヒダリマージン — -20~ <u>0</u> ~99mm
	(P.4-6)	リフレッシュ	レベル0、 <u>レベル1</u> 、レベル2、レベル3
	(P.1-25)	メディア検出	セレクト、 <u>ハバ</u>
	(P.1-38)	巻き取り	OFF、間欠、 <u>連続</u>
	(P.3-12)	吸着	標準、 <u>弱い</u> 、OFF
	(P.3-6)	ミリ/インチ	<u>ミリ</u> 、インチ
	(P.3-14)	セッテイリセット	ユーザー1 リセット — ent 1~4
メンテナンス	リスト (P.4-21)		ent
	ダンプ (P.4-20)		ent
	ドット位置補正 (P.4-2)	X方向 テスト作図 Y往復 Y復路 Y往路	
	ステーションメンテ (P.4-12)	ワイパ交換 キャリッジアウト	
	インク充填 (P.2-32)		スペテ、カラー1、カラー234、カラー567
	インク排出 (P.2-31)		カラー1
	巻き取りセンサー (P.4-22)		ent
	ビュー設定 (本補足説明書4章に追加)		<u>ON</u> / OFF
コピー (P.3-8)			1~999枚
DISPLAY (P.3-16)			<u>English</u> 、Japanese、Portuguese、Italian、Spanish、French、German

下線の値は、工場出荷時の設定値です。

C 出力サンプル

テスト作図



ダンプリスト

```

          ダンプ          Ver1.00 I/F1.00 SIMM1: 32M SIMM2: 32M
1B 40 1B 55 01 4D 44 68 01 68 01 4D 50 04 01 01 00 00 00 00 00 00 4D 52 00 4D 56 00 00 00 00 00 4D 48 00 00
00 00 1B 28 72 02 00 00 02 1B 2E 01 0A 0A 01 70 42 39 08 10 40 81 00 20 08 10 40 82 10 82 02 04 20 10 81
04 08 21 00 00 08 10 00 82 08 00 00 41 04 08 10 84 08 10 08 20 08 10 41 02 00 01 01 00 20 08 00 80 40 10
08 20 08 10 41 02 FE 00 34 04 08 10 00 80 40 10 82 10 08 10 41 02 08 00 00 04 20 10 00 04 00 10 80 20 08
08 00 02 08 00 01 04 08 02 01 04 04 01 00 20 08 10 01 02 00 81 01 04 00 02 01 04 FD 00 FF 08 FF 00 00 08
FE 01 5F 08 00 00 04 00 01 01 00 08 10 42 02 08 02 01 04 20 10 81 04 04 10 08 20 82 08 10 82 08 02 01 01
04 08 00 80 41 01 02 10 08 10 08 00 10 02 01 04 20 42 08 10 01 02 08 21 02 08 40 80 08 08 01 04 20 42 08
10 4C 21 00 20 08 10 40 00 08 02 00 00 04 00 00 80 00 00 81 02 08 10 40 02 08 02 02 04 FE 00 06 81 00 10
08 00 00 01 FE 00 FF 01 06 00 04 08 20 80 00 10 FE 00 26 10 00 00 08 00 00 04 08 02 00 00 04 01 08 21 08
10 00 00 10 01 02 04 08 00 00 01 04 10 08 20 82 08 00 80 08 00 00 40 F7 00 00 08 F9 00 2A 84 04 01 00 20
00 00 40 82 00 01 01 00 20 00 00 81 04 01 00 20 08 10 40 02 02 04 01 00 20 08 10 80 40 10 08 00 00 10 08
02 08 82 F8 00 02 20 00 08 FE 00 04 81 00 20 20 02 FE 00 08 10 08 20 00 08 00 02 00 01 FD 00 15 08 04 00
10 08 20 08 10 40 80 00 81 01 00 08 05 00 01 04 01 01 08 FE 00 0C 80 08 08 10 20 00 42 01 00 00 10 81 02
FE 08 44 02 08 02 01 00 20 10 08 41 04 21 00 20 82 10 40 82 08 01 00 00 20 10 08 04 04 10 82 10 20 41 08
20 10 82 02 04 20 08 20 04 04 10 08 00 08 08 00 02 08 02 01 04 20 10 20 84 04 01 01 02 08 00 40 82 08 01
01 04 FE 08 FF 44 5A 21 08 20 82 08 10 82 10 82 02 04 20 84 10 84 04 10 81 02 10 40 00 82 08 08 01 00 00
08 10 04 08 21 08 21 08 10 42 20 40 82 01 04 04 08 00 80 04 10 08 20 82 08 41 02 10 81 02 04 08 10 81 04
01 02 08 21 08 10 41 02 08 08 21 04 20 42 10 84 08 20 81 02 08 08 42 04 10 81 02 04 FE 08 4C 10 41 02 08
21 08 10 42 10 42 08 21 08 44 10 82 10 42 10 80 20 08 10 40 80 10 01 01 04 20 84 21 04 04 21 08 20 42 10
40 82 08 86 4C 44 21 08 21 04 42 10 82 10 88 44 20 82 08 08 11 04 20 40 01 04 04 10 82 10 20 40 41 02 00
01 01 04 FE 08 7E 04 00 01 01 02 22 10 42 10 40 82 02 04 04 08 21 04 08 21 08 21 08 42 08 42 10 82 10 84
21 08 82 10 41 04 08 20 82 10 41 02 08 08 02 04 20 84 21 04 04 10 82 10 82 10 88 84 10 81 02 04 08 08 10
04 08 21 08 21 08 10 41 04 10 41 02 04 20 42 10 84 08 21 08 42 10 82 10 82 08 02 02 04 04 08 21 04 08 20
08 20 08 10 41 04 10 41 08 41 08 10 20 84 04 10 08 20 08 21 08 84 20 82 10 41 08 10 7E 08 10 41 01 02 10
08 42 08 20 42 08 21 04 08 10 82 11 08 21 08 20 42 08 10 82 08 41 01 04 08 08 21 04 08 20 80 20 02 10 41
04 10 84 10 41 08 42 10 04 04 10 81 08 42 10 40 82 10 84 20 88 82 10 41 04 10 82 08 42 08 42 10 82
11 31 A0 42 10 84 44 21 08 21 08 42 10 82 10 84 11 08 20 88 A8 84 04 10 81 02 08 10 42 08 20 84 10 84 21
08 82 10 44 21 08 42 08 42 10 82 02 08 65 21 16 08 88 84 41 04 10 82 10 84 10 82 08 42 11 04 20 42 10
84 44 42 10 84 FE 44 0D 42 90 88 C4 44 21 08 88 84 44 44 21 08 42 FC 11 33 08 44 21 92 2A 22 21 11 08 88
40 10 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00

```

付録

索引

記号

!マキトリ	5-5
** リモート ** [マキトリ]	5-5
360dpi カクチョウ	2-24
360dpi 拡張モード	2-24

A

AC インレット	1-9, 1-16
----------------	-----------

D

DISPLAY	3-16
---------------	------

E

END キー	1-13
ENTER キー	1-13

F

FORWARD	1-37
FUNCTION キー	1-13

O

OFF	1-37, 1-38
-----------	------------

P

POWER ランプ	1-12
-----------------	------

R

REMOTE/LOCAL キー	1-13
REVERSE	1-37

X

X 方向のパターン	4-2
-----------------	-----

Y

Y 方向の往復パターン	4-3
Y 方向の往路・復路パターン	4-2

ア

ア트워크テスト	2-25
安全にお使いいただくために	2
絵表示について	2
絵表示の例	2

イ

移動方法	1-40
インジェクション	2-34
!インクニアメント	5-4
インクハシユツ	2-33
インクカートリッジ 1-4, 1-7, 1-20, 1-21, 1-23, 2-28, 2-29, 2-31, 4-2	
- について	5, 1-20, 1-21, 1-23
取り扱い上の注意	1-20
- の交換	2-28, 2-29, 2-31
- の交換方法	2-30
- をセットする前に	1-21
インク乾燥時間の設定	2-26
スキャン	2-26
ファイルエンド	2-26
インク色	1-21
インクステーション	1-7, 1-23, 2-32
!インクニアメント	2-28, 2-29, 2-31
インクの充てん	1-22
インクヘッドについて	1-24
インクを充てんする	2-34
インクを排出する	2-33
インターフェイスケーブル	1-15

エ

絵表示について	2
絵表示の例	2
エラー-03 ヘッド RAM	5-6
エラー-04 EEPROM	5-6
エラー-05 CPUi/f	5-6
エラー-06 EDO-DRAM	5-6
エラー-07 EDO-DRAM.S	5-6
エラー-08 パワー	5-6
エラー-10 コメント	5-6
エラー-11 パラメータ	5-6
エラー-20 I/Fボード	5-6

索引

エラー-21 I/Fナシ	5-7
エラー-22 SIMM SLs r	5-7
エラー-23 ホストI/F	5-7
エラー-30 オペレーション	5-7
エラー-31 データナシ	5-7
エラー-32 データがオキイ	5-7
エラー-34 データアリ	5-7
エラー-40 モーターアラーム X	5-8
エラー-41 モーターアラーム Y	2-9, 5-8
エラー-42 Xオーバーカレント	5-8
エラー-43 Yオーバーカレント	5-8
エラー-50 ヨウシケンシュツ	5-8
エラー-51 Yケンテン	5-8
エラーメッセージ	5-6

オ

応用機能	3-1
送り補正	3-11
オクリ トレイ	2-22, 2-23
お手入れ	2-36
外装のお手入れ	2-36
重さ	1-31
オリジン	1-13

カ

カートリッジ	5-4, 5-5
ガイドレール	1-9, 1-32
各種設定値のユーザー選択	2-18, 2-19
各色のヘッドのズレ補正	4-2
各部の名称とはたらき	1-6
前面	1-6
インクカートリッジ	1-7
インクステーション	1-7
脚	1-7
キャリッジ	1-7
クランプレバー	1-7
操作パネル	1-7
電源スイッチ	1-7
廃インクタンク	1-7
反射板	1-7
引っ張りローラ	1-7
ピンチローラ	1-7
フィードローラ	1-7
プラテン	1-7
フロントカバー	1-7
巻き取りセンサー	1-7
巻き取り装置	1-7
メディアセンサー	1-7
背面	1-8

AC インレット	1-9
ガイドレール	1-9
シャフト	1-9
電装ボックス	1-9
パラレルコネクタ	1-9
ホルダーベースネジ	1-9
ロールホルダー	1-9
ロールホルダーベース	1-9
各モードについて	1-19
ノットレディモード	1-19
ファンクションモード	1-19
リモートモード	1-19
ローカルモード	1-19
各ユーザー内の設定値を変更したい場合	2-18
重ね塗り	3-11
かみヌリ	3-4
重ね塗りの設定	3-4
画質不良がでたとき	5-3
色ごとにインクが重ならない	5-3
往復印字でズレが発生する	5-3
白いスジ/カスレが気になる	5-3
カラー 1	4-8
カラー番号	1-21, 1-24
カンケツ	1-38
間欠モード	1-37, 1-38
乾燥時間	2-26, 3-11
カンソウカン	2-26, 2-27

キ

キー	6
基本仕様	付録-2, 付録-3
本体仕様	付録-2
外形寸法	付録-2
コマンド	付録-2
重量	付録-2
騒音	付録-2
基本動作・基本機能	2-1
脚	1-7
キャスト	
-のロック	1-40
キャッピング	1-11, 2-35
-ステーション	1-11, 1-11, 2-35
キャップ	
-のクリーニング	4-15
キャリッジ	1-7, 1-10, 2-3
キューチャク	3-12

ク

クランプレバー	1-7, 1-25, 1-26, 1-35, 2-7
---------	----------------------------

クリーニング	1-11
クリーニング	4-8
クリーニングタイプ	4-8

ケ

ケーブルコネクタ	1-15
ケーブルの接続	1-15
警告	3
原点	2-16, 2-17
- (作図原点) の設定	2-16, 2-17

コ

故障?と思う前に	5-2
作図できない	5-2
電源が入らない	5-2
コピー	3-8
困ったときは	5-1
ゴムキャップ	1-3

サ

作図原点	1-13, 2-11
作図の開始	2-14
リモート表示が点滅したら	2-14
作図方向	2-20, 2-21
2pass	2-20
4pass	2-20
8pass	2-20
高速	2-20
-と分割方式の設定	2-20, 2-21
双方向	2-20
単方向	2-20
標準	2-20
サクス ホウシキ	2-20, 2-21
作図面	1-31
作図を中止するには	2-15
左右端の余白を変更する	3-2

シ

*シート ガ アリマシ *	2-4
紙管の内径	1-31
シャフト	1-9, 1-32
出力サンプル	付録-6, 付録-7
使用上の注意	4
ジョグキー	1-12, 1-13
-のはたらき	1-13
機能選択時	1-13
シート検出後	1-13

選択肢入力時	1-13
--------	------

ス

スキャン	2-26
ステータス	1-3
ステーション番号	1-21, 1-24
ステーションメンテ	4-12, 4-15
スベテ	4-8

セ

接地アダプタ	1-4, 1-16, 1-4
設置上の注意	5
設置スペース	1-2
設置場所	1-2
設置スペース	1-2
セッテイリセット	3-14
設定状態の作図	4-21
設定値の初期化	3-14
設定値の優先順位の設定	3-10
パネル	3-10
ホスト	3-10
セットアップ	1-1

ソ

操作パネル	1-7, 1-12
-の名称とはたらき	1-12
END キー	1-13
ENTER キー	1-13
FUNCTION キー	1-13
REMOTE/LOCAL キー	1-13
ジョグキー	1-12
ディスプレイ	1-12
POWER ランプ	1-12
増設メモリ	3-8
双方向	
-パラレルインターフェイス	1-9, 付録-3
ソフト	4-8

タ

ダンプ	4-20
ダンプリスト	付録-7

チ

違う種類のインクに入れ替える場合	2-33
------------------	------

テ	
データリア	2-15
ディスプレイ	6, 1-12, 3-6
-とキーの表記	6
-の表示言語の設定	3-6, 3-16
テストカズ	4-10
テスト作図	付録-6
-の実行	4-10
テスト作図後のメディア送りの設定	4-23
デッドスペース	2-2
電圧	1-16
電源	1-16, 1-17
-ケーブル	1-4, 1-15, 1-16
-のオフ	1-18
-のオン	1-17
電源スイッチ	1-7
電装ボックス	1-9

ト	
同一データの再作図	3-8
動作モード	1-38
特色インク	2-33
ドットイチホイ	4-2
X方向のパターン	4-2
Y方向の往復パターン	4-3
Y方向の往路・復路パターン	4-2

ヌ	
ヌリツブシ	2-24, 4-23
ノ	
ノーマル	4-8

ハ	
廃インクタンク	1-7
-の交換方法	4-24
廃インクブラケット	4-24
幅	1-31
ハバ	1-27
パラレルコネクタ	1-9
反射板	1-7, 4-22

ヒ	
左脚	1-3
引っ張りローラ	1-7

ビューセッタイ	4-23
ピンチローラ	1-7, 2-6

フ	
ファイルエンド	2-26
ファンクション機能	1-13
ファンクションメニュー構造	付録-5
ファンクションモード	2-12
フィードローラ	1-7, 1-32
付属品の確認	
インクカートリッジ	1-4
ステー	1-3
接地アダプタ	1-4
電源ケーブル	1-4
左脚	1-3
プラスドライバー	1-3
本体	1-3
本体取付用ボルト	1-4
右脚	1-3
.....	1-3
ゴムキャップ	1-3
六角レンチ	1-3
プラスドライバー	1-3
プラテン	1-7
フロントカバー	1-7, 2-3
の開閉について	2-3
-とレバーについて	4

ヘ	
ヘッド	2-35, 4-8
-クリーニング	4-9
ヘッドストッパーの取り外し	1-14
-のクリーニング	4-8
-の保護	2-35
キャッピング	2-35
-のリフレッシュレベルの設定	4-6
ヘッド 2、3、4	4-8
ヘッド 5、6、7	4-8

ホ	
ホルダーベースネジ	1-9
本書の構成	7
本書の読み方	6
本書の構成	7
本装置の移動	1-40
移動方法	1-40
キャストのロック	1-40
本装置の特長	8

本体	1-3
-取付用ボルト	1-4

マ

マージン	3-2
巻き径	1-31
マキトリ	1-38
マキトリセンサー	4-22
巻き取りセンサー	1-7
-の位置確認	4-22
巻き取り装置	1-7, 1-36
-の動作モード設定	1-38
OFF	1-38
カンケツ	1-38
レンゾク	1-38
-の巻き取り方向	1-37
FORWARD	1-37
OFF	1-37
REVERSE	1-37
-へのメディアの取り付け	1-36

ミ

右脚	1-3
ミ/インチ	3-6

メ

メッセージを表示するトラブル	5-4, 5-5
エラーメッセージ	5-6
ワーニングエラー	5-4
メディア	1-26, 2-4, 3-12
-のセット	1-25, 1-27, 1-29
-送りの設定	4-23
-検出の設定	1-26
ハバ	1-27
リーフ	1-26
ロール	1-26
-検出方法	1-25
-センサー	1-7, 1-27
-のはたらき	1-25
-の吸着力の設定	3-12
ヒョウジュン	3-12
ヨワイ	3-12
-の交換	2-4
リーフメディアのセット	2-9
ロールメディアの交換	2-4
メニューの基本操作	2-12, 2-13
メンテナンス機能	4-1

ユ

ユーザー 1	2-18
有効作図エリア	2-2
ユウセン ジュノイ	3-10

ヨ

用紙	4, 2-22, 2-23
-について	4
-の送り量を補正	2-22, 2-23

リ

リーフ	1-26
リーフメディア	2-2
-のセット	2-9
リスト	4-21
リフレッシュ	4-6
リフレッシュ	4-6
リモートモード	1-13, 2-12

レ

レベル 0	4-6
レンゾク	1-38
連続モード	1-37, 1-38

ロ

ローカルモード	1-13, 2-12, 2-18
ロール	1-26
ロールホルダー	1-9, 1-32
ロールホルダーベース	1-9
ロールメディア	2-2
-の交換	2-4
ロールメディアのセット	1-31
六角レンチ	1-3

ワ

ワーニングエラー	5-4
!マキトリ	5-5
リモート[マキトリ]	5-5
!インクニアウト	5-4
!カートリッジ	5-4, 5-5
!ワイハ コウカン	5-4
ワイパ	1-11, 4-12, 4-15
-交換とキャップのクリーニング	4-15
-のクリーニング	4-12
!ワイハ コウカン	5-4

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、販売店または下記までお願い致します。

株式会社
ミマキエンジニアリング

<http://www.mimaki.co.jp>

東京支社

TEL 03-5420-8680

東京都品川区北品川5-9-41 TKB御殿山ビル

〒141-0001

FAX 03-5420-8686

金沢営業所

TEL 076-222-5380

金沢市西念4-24-30 金沢M.Gビル

〒920-0024

FAX 076-222-5381

大阪支店

TEL 06-6388-8258

大阪府吹田市江坂町1-13-41 明治生命江坂ビル

〒564-0063

FAX 06-6388-8265

名古屋営業所

TEL 052-777-7245

名古屋市名東区上社1-119

〒465-0025

FAX 052-777-7309

札幌営業所

TEL 011-200-5500

札幌市中央区北2条東-1-5-2 サニープリンス

〒060-0032

FAX 011-200-5510

広島営業所

TEL 082-876-3103

広島市安佐南区緑井6-10-14 メゾン高津屋

〒730-0103

FAX 082-876-3108

仙台営業所

TEL 022-213-7303

仙台市青葉区上杉1-6-22 サンビル

〒980-0011

FAX 022-213-7305

福岡営業所

TEL 092-612-1355

福岡市博多区吉塚5-11-15

〒812-0041

FAX 092-612-1356

長野営業所

TEL 0268-64-2377

長野県小県郡東部町大字加沢 1333-3

〒389-0514

FAX 0268-64-2399

お問い合わせ時間：午前10:00より午後5:00まで
営業日：月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）

Mimaki

Printed in Japan

D200426

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 2002